

資料3

小児慢性特定疾病児童等
自立支援事業推進事業立ち上げ支援

熊本市 実態把握調査

PwCコンサルティング合同会社
2024/12/



Agenda

1. 保護者向け調査の単純集計結果 まとめ
2. 保護者向け調査の単純集計結果 資料
3. 保護者向け調査のクロス集計結果 まとめ
4. 保護者向け調査のクロス集計結果 資料
5. 子ども向け調査の単純集計結果 資料

1

保護者向け調査の
単純集計結果 まとめ

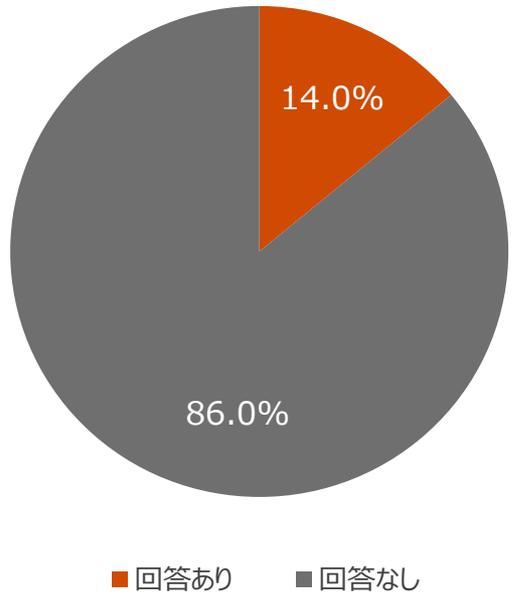
1. 実態把握調査の概要

本事業における熊本市の調査は8月末～10月末の実査期間 2 か月間で実施しました。回答があったのは、調査票を送付した878名の約14%にあたる125名でした。

調査概要

- 実査期間：
8月27日～10月31日
- 調査対象：小児慢性特定疾病医療受給者証をお持ちのご家庭
- 調査方法：Webアンケート

調査票を送付した対象者のうち、回答があった数 (n=878)



2-1. 単純集計の結果概要

「子どもの状況」「医療や福祉サービス」の単純集計結果を整理しました。

単純集計の結果（全体の傾向）	
子どもの状況	<ul style="list-style-type: none"> 主病の診断を受けた時期は、「0歳」44%、「3歳」11%。
	<ul style="list-style-type: none"> 直近1年以内に小児慢性特定疾病を理由とした入院があった割合は、36%。 直近1年間の病院への通院頻度は、「月に1回程度」48%、「半年に2～3回程度」25%、「月に2～3回程度」14%。
	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの病気について家族以外で伝えている人は、「学校の先生」72%「あなたの知人・友人」70%。
	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で医療的ケアに関して、医療的ケアを行っているのは59%（「自己注射」を医療的ケアに含まない場合は、38%）であり、「自己注射」21%、「在宅酸素療法」「吸引」14%だった。
	<ul style="list-style-type: none"> 障害の有無は、「身体障害者手帳を持っている」38%、「療育手帳を持っている」33%、「発達障がいの診断を受けている」16%。
医療や福祉サービス	<ul style="list-style-type: none"> 医療や福祉サービスを利用しているのは36%。 <ul style="list-style-type: none"> 利用しているサービスは、「障害児通所支援」66%、「訪問看護」43%。 サービスを利用していない理由は、「サービスを必要としていない」72%、「利用できるサービスを知らない」24%。
	<ul style="list-style-type: none"> 医療や福祉サービスの情報を入手する際に困ったことは、「相談先が分からなかった」33%、「どこを探せばよいか分からなかった」31%。「特に困らなかった」は43%。 情報の入手手段は、「医療機関」57%、「インターネット」50%。
	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援事業の説明について、「わからない/覚えていない」59%、「説明を受けていない」27%、「説明を受けた」13%。

2-2. 単純集計の結果概要

「不安や悩み」「不安や悩みの相談先」「必要なサービス」の単純集計結果を整理しました。

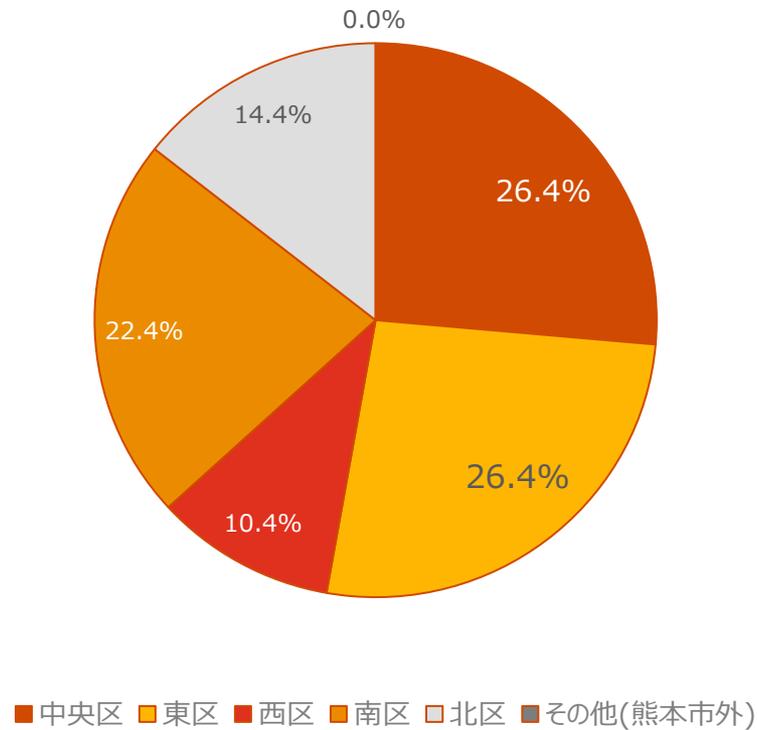
単純集計の結果（全体の傾向）	
不安や悩み	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みの有無について、「ある」または「どちらかというところ」と回答したのは62%。 <ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みの内容は、「子どもの成長・発育への不安」69%、「子どもの病気への悪化への不安」65%、「自分の就労や働き方の悩み」60%。
	<ul style="list-style-type: none"> 学校や保育所等での不安は、「体力面」71%、「急変・緊急時の対応」63%。
	<ul style="list-style-type: none"> 就労についての不安や悩みについて、「ある」と回答したのは53%。
	<ul style="list-style-type: none"> 成長や自立のために重要なことは、「疾病のある子どもに対する理解促進」95%、「自治体の発信情報の分かりやすさ」94%、「同世代交流」84%、「学習支援」81%。
不安や悩みの相談先	<ul style="list-style-type: none"> 相談できる相手や場所は、「同居している家族や親族」73%、「医療機関」60%、「同居していない家族や親族」37%。「自立支援員・相談支援専門員」は21%。
	<ul style="list-style-type: none"> 生活全般に関する専用の相談窓口が開設された場合、利用したいかを聞いた設問において、「とてもそう思う」30%、「そう思う」35%だった。 <ul style="list-style-type: none"> 利用したい人の相談したい内容は、「将来の生活の見通しについて」79%「学校生活について」62%。
必要なサービス	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期に必要なだったと思う支援やサービスは、「疾病のある子どもに対する理解の促進」56%、「疾病のある子どもの保護者同士の交流」55%。
	<ul style="list-style-type: none"> 児童期に必要なだったと思う支援やサービスは、「学習支援」58%が最も高く、次点は「同世代交流」52%、「疾病のある子どもに対する理解の促進」51%。
	<ul style="list-style-type: none"> 青年期に必要なだったと思う支援やサービスは、「疾病のある子どもに対する理解の促進」72%、「学習支援」65%、「同世代交流」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」58%。

2

保護者向け調査の
単純集計結果 資料

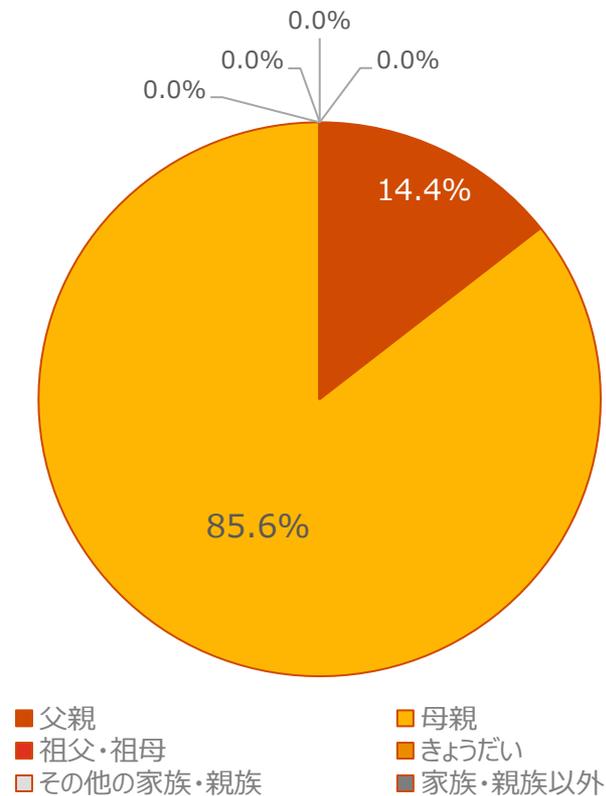
1. こどもが居住している区

Q1. お子さまのお住まいの区をお答えください。(n=125)



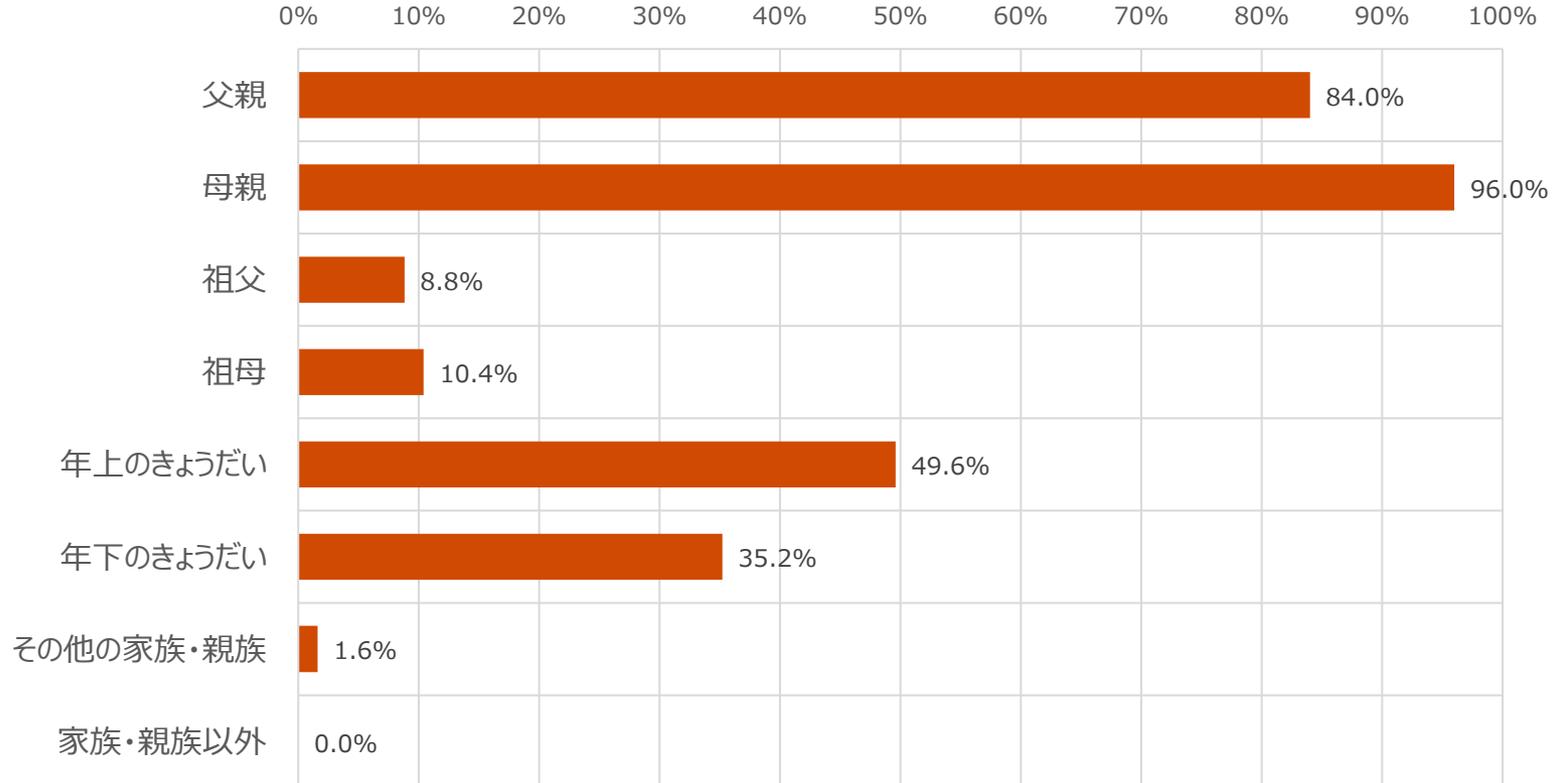
2. 回答者の続柄

Q2. どなたが回答されていますか。お子さまから見た続柄をお答えください。(n=125)



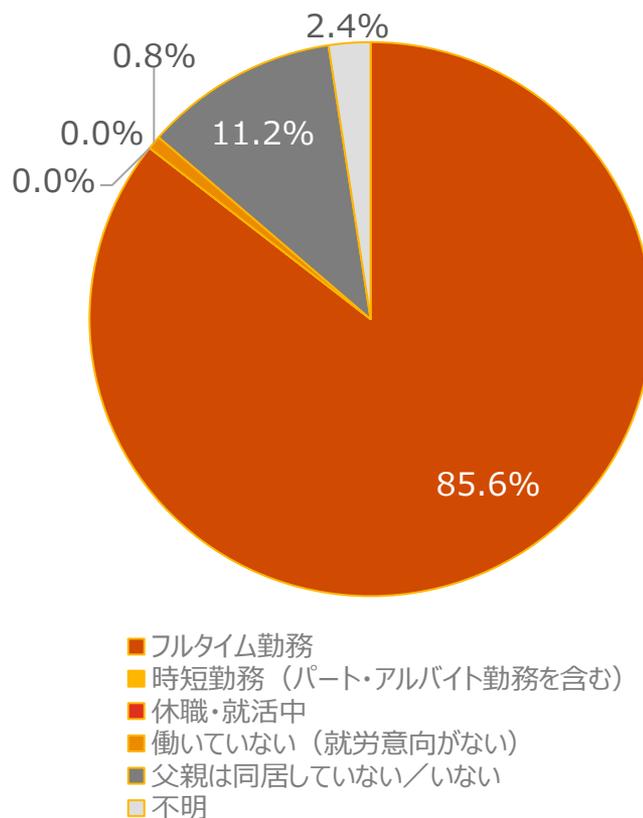
3. 同居している家族

Q3.現在、お子さまと同居している方を、あなたも含めてお答えください。(n=103)



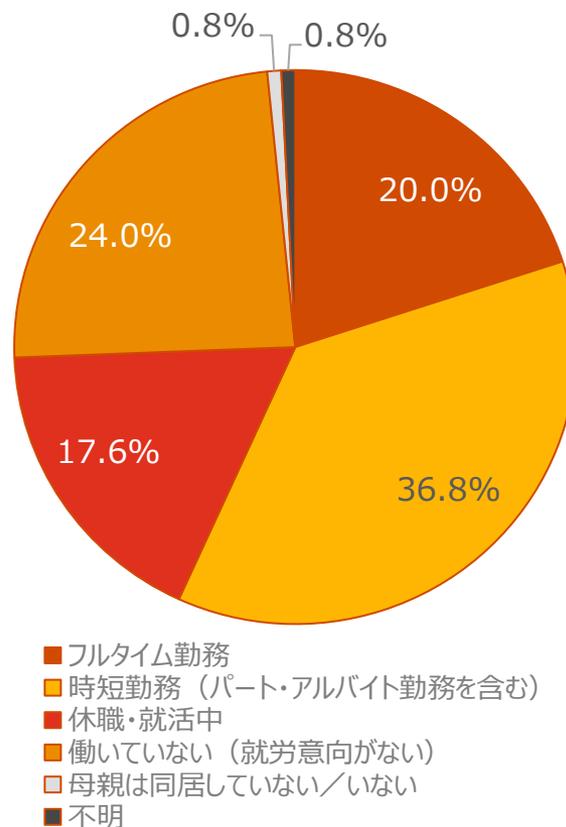
4. 同居している父親の就労状況

Q4. お子さまと同居しているご両親の就労状況をお答えください。1.父親 (n=125)



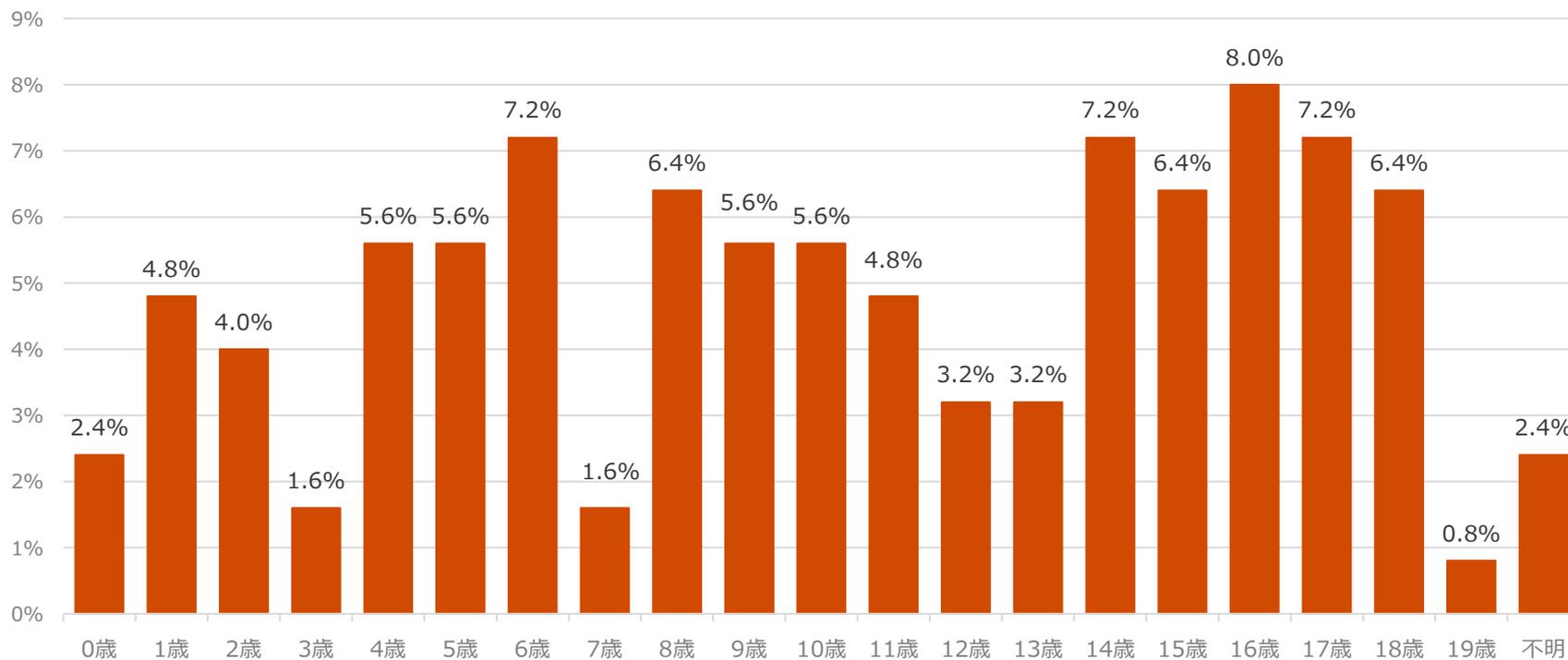
5. 同居している母親の就労状況

Q4. お子さまと同居しているご両親の就労状況をお答えください。2.母親 (n=125)



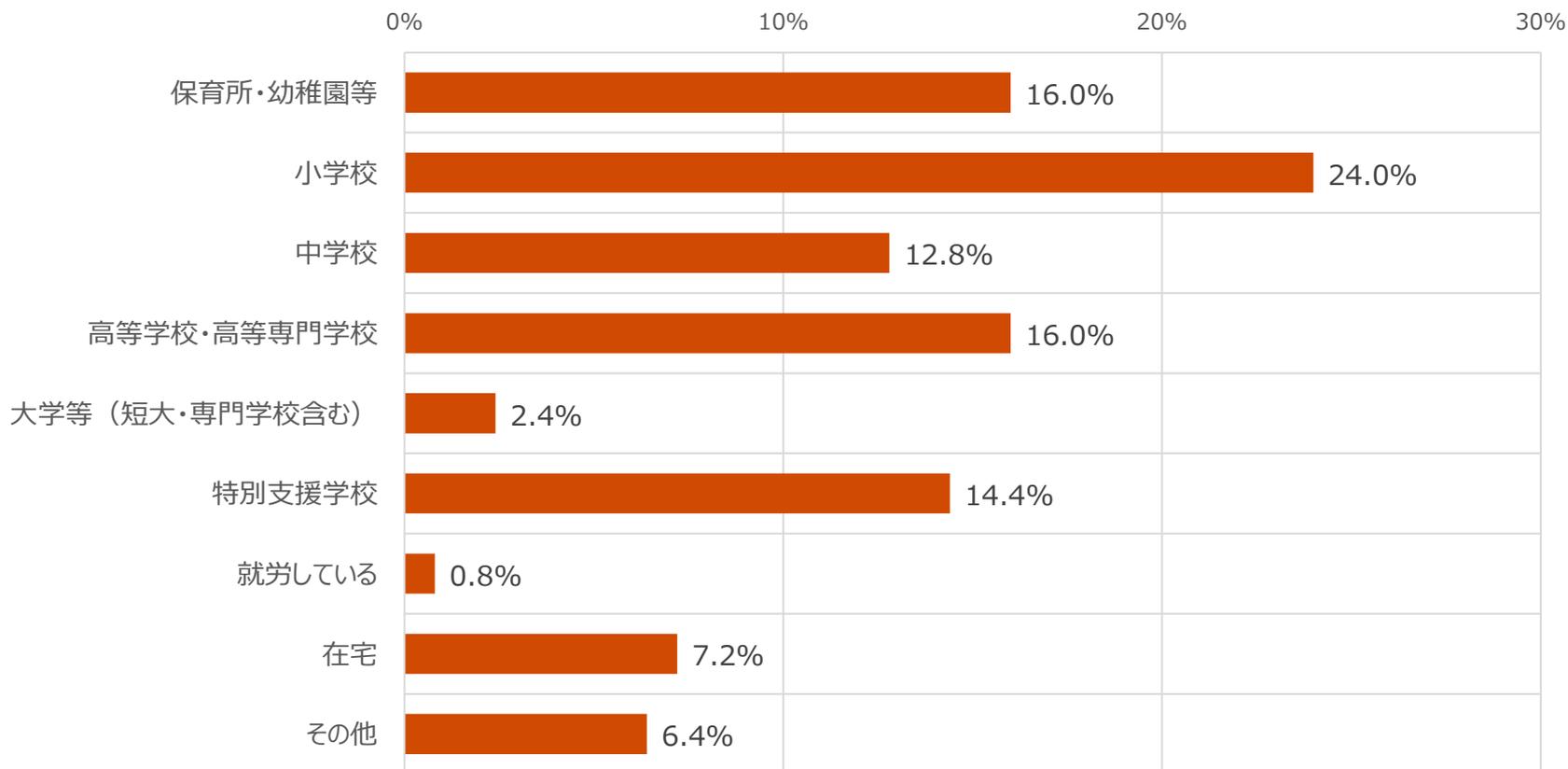
6. こどもの年齢

Q5. お子さまの年齢をお答えください。(n=125)



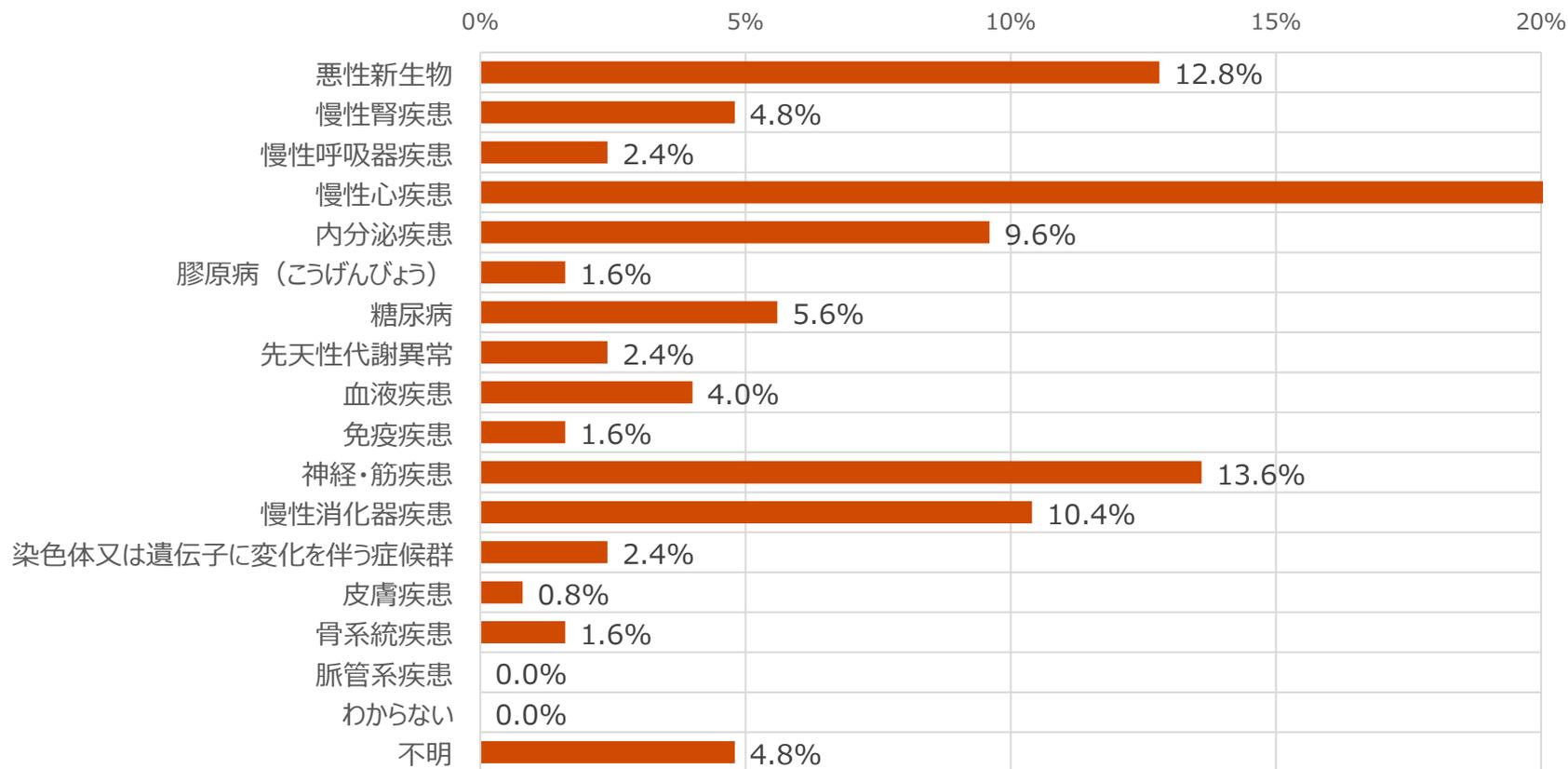
7. こどもの在籍している保育・教育機関等

Q6. お子さまが現在在籍している保育・教育施設等をお答えください。(n=125)



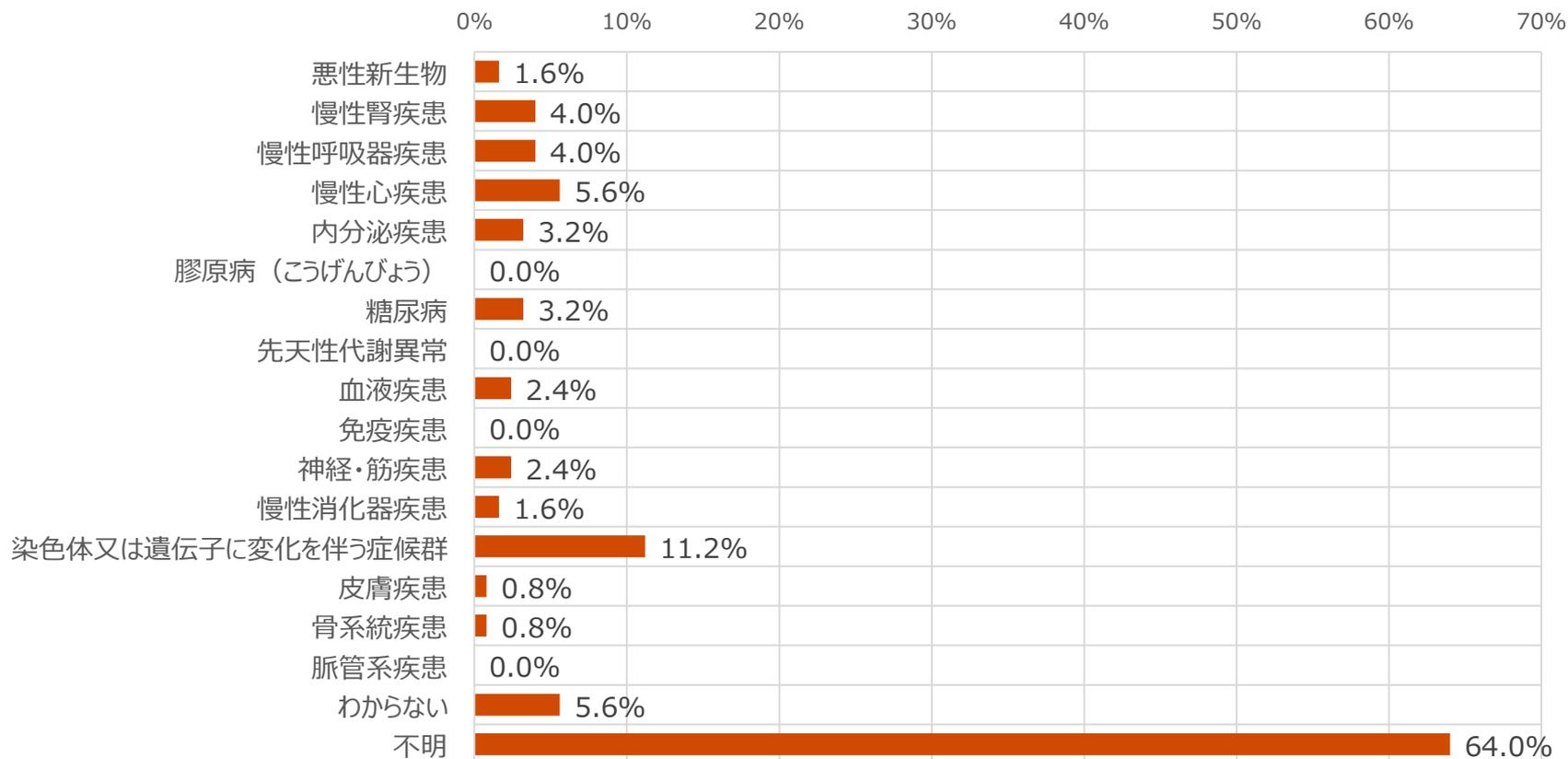
8. こどもの小児慢性特定疾病の疾患群名（主病）

Q7. お子さまが患っている小児慢性特定疾病の主疾患群名をお答えください。（n=125）



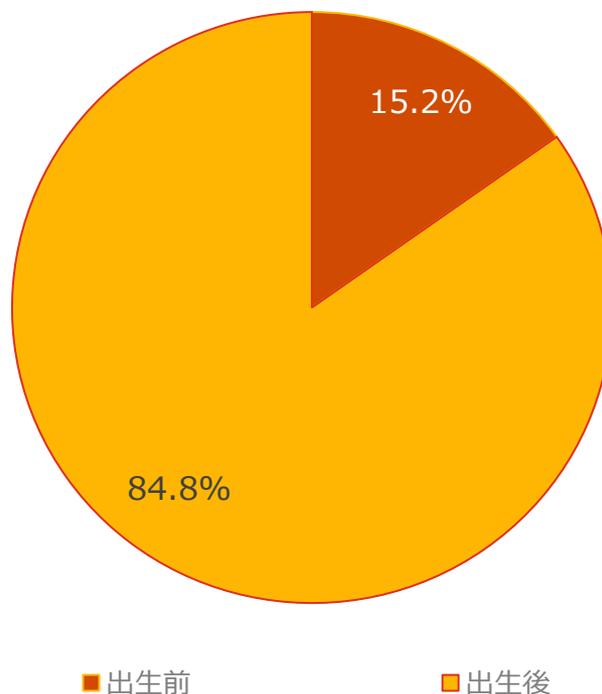
9. こどもの小児慢性特定疾病の疾患群名（主病以外）

Q8. 主病以外に当てはまる疾患群があればお答えください。（n=125）



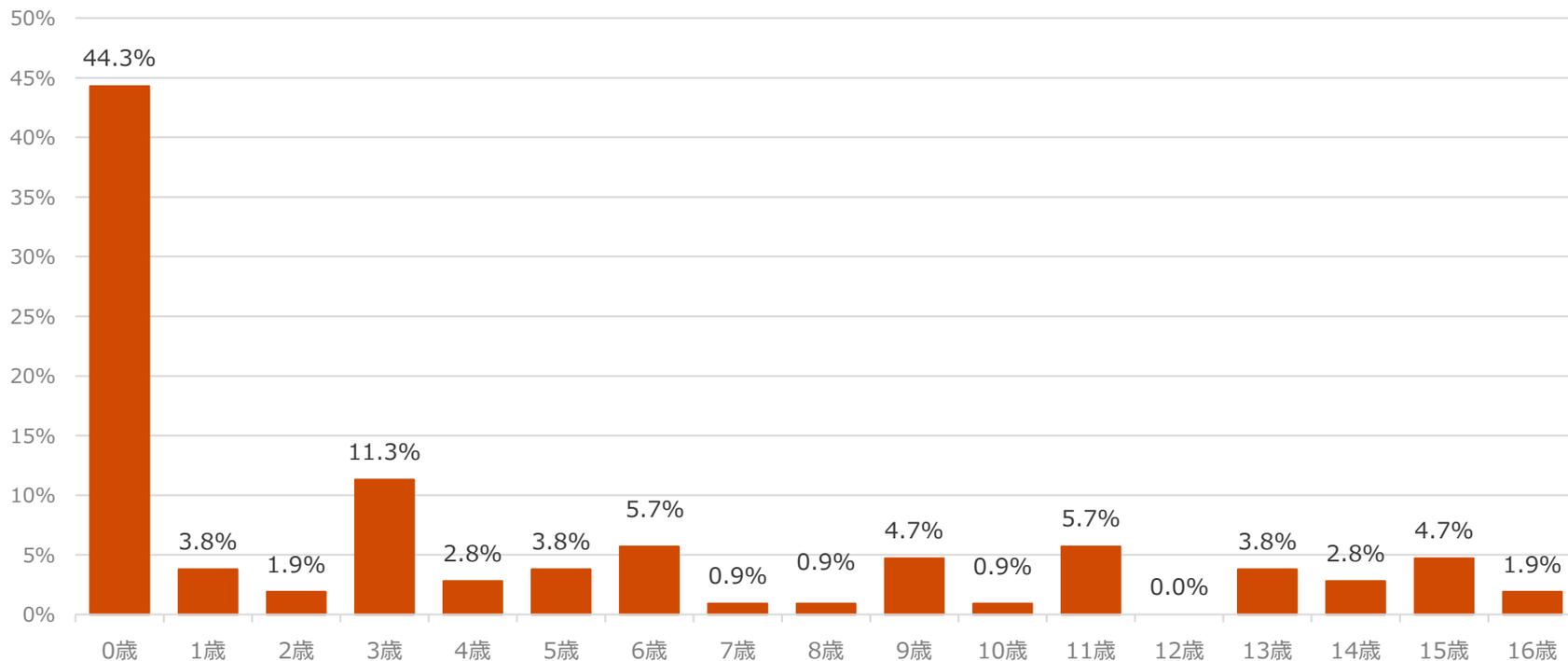
10. こどもが主病の診断を受けた時期

Q9. お子さまが主病の診断を受けたのはいつですか。(n=125)



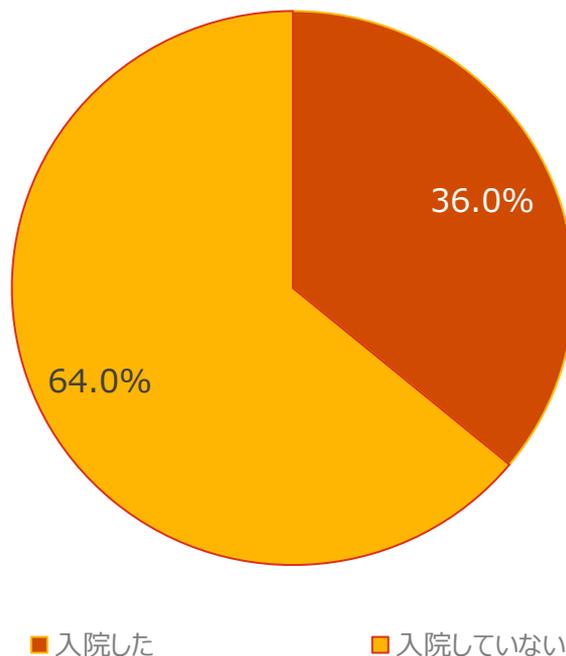
11. 主病の診断を受けた時期

Q10. 「2. 出生後」を選択した場合、その時のお子さまの年齢をお答えください。(n=106)



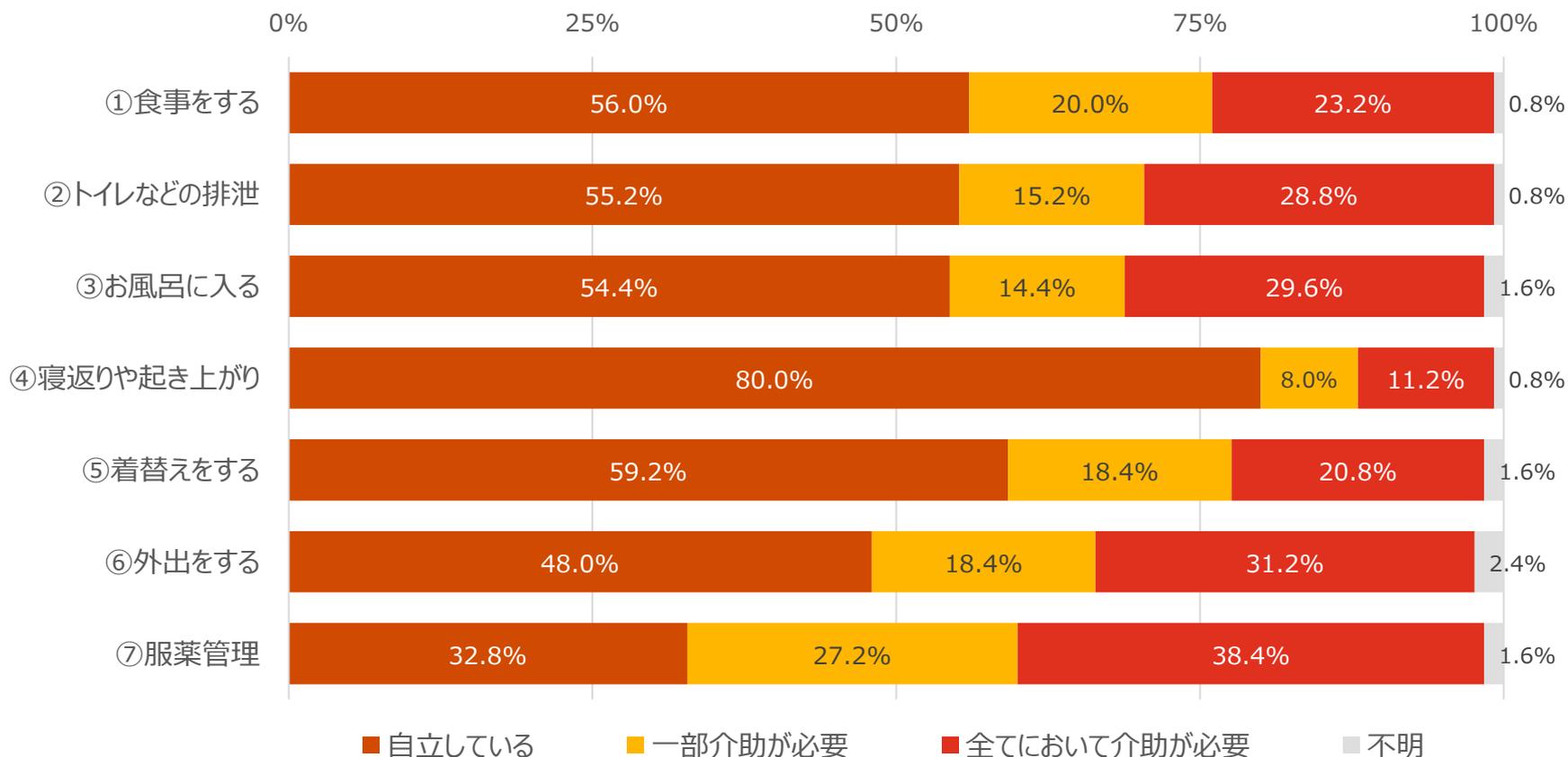
12. 1年以内の小児慢性特定疾病を理由とした入院

Q11. お子さまは、直近1年間に小児慢性特定疾病を理由として、病院への入院をしたことがありますか。(n=125)



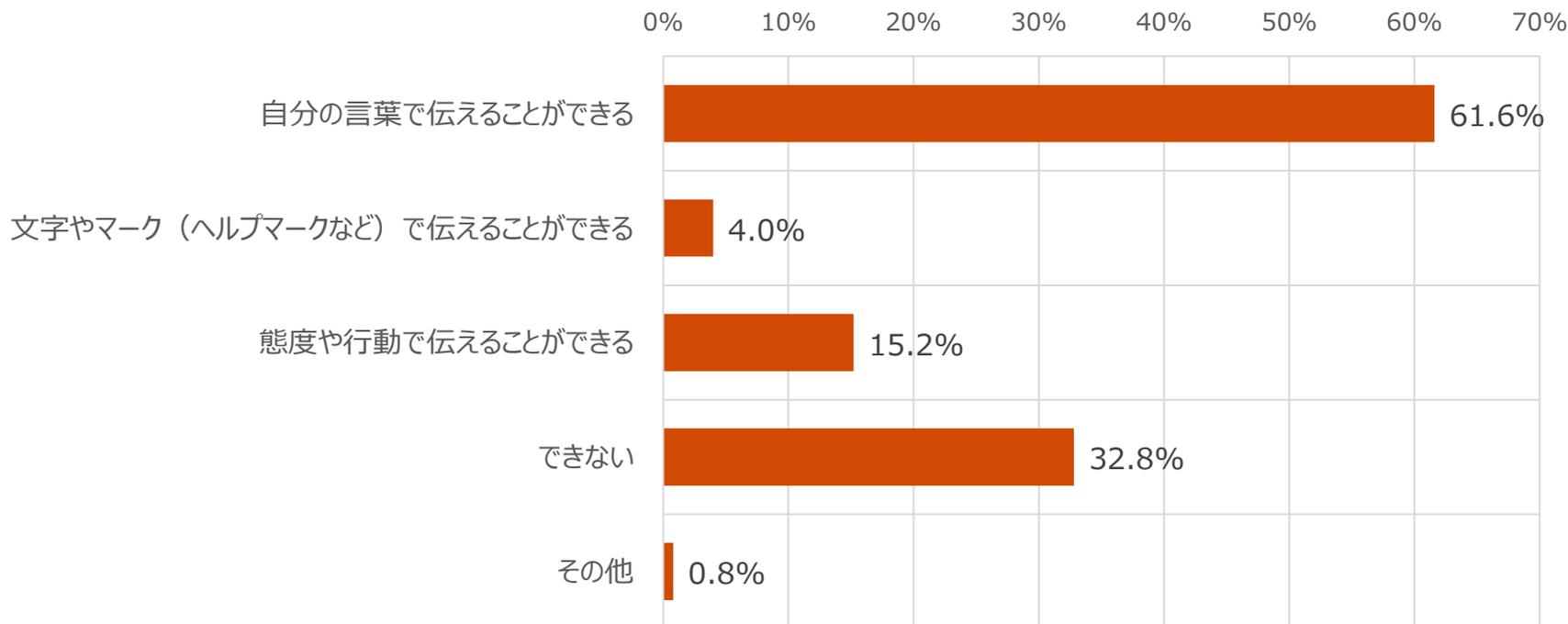
13. こどもの生活の自立度

Q14. あなたから見た、お子さまの生活の自立度をお答えください。(n=125)



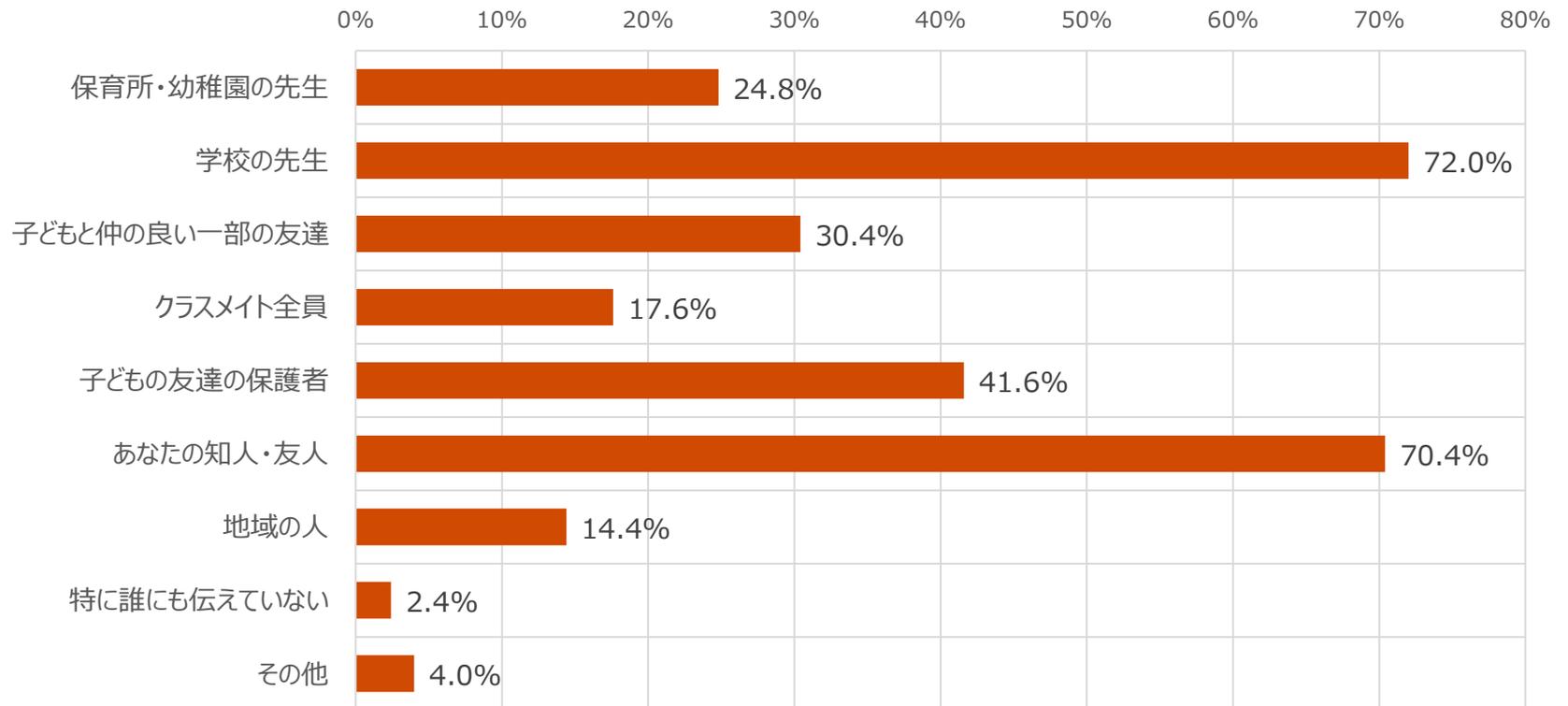
14. こどもが体調の変化を家族以外の人に伝えられるか

Q15. お子さまは自分の体調の変化を家族以外の人に伝えることができますか。(n=125)



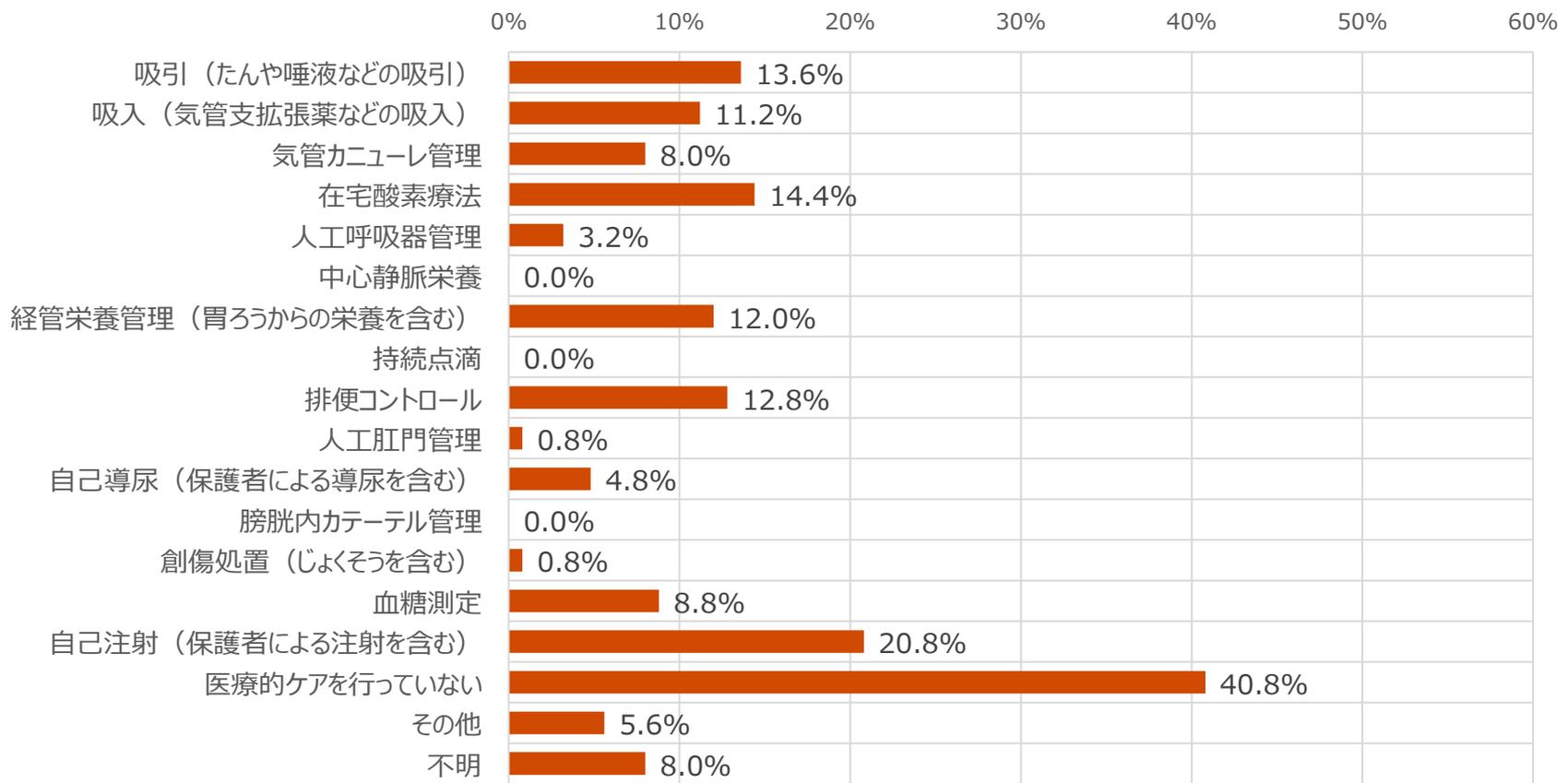
15. こどもの病気のことについて、家族以外で伝えている人

Q16. お子さまの病気のことについて、家族以外ではどなたに伝えていますか。(n=125)



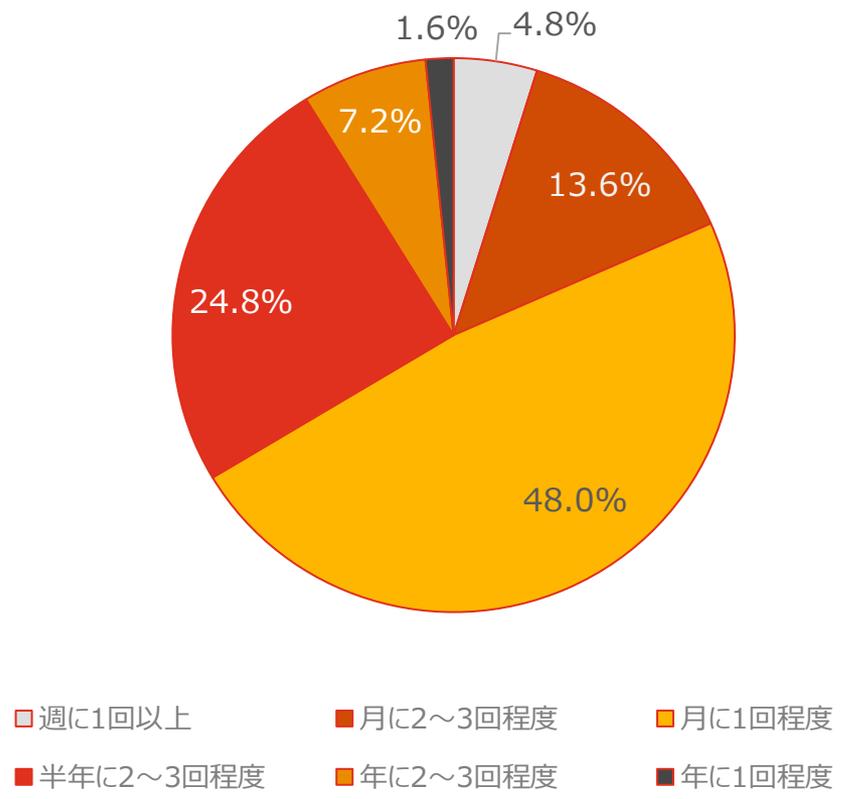
16. こどもが家庭で行って（受けて）いる医療的ケア

Q17. 次のうち、お子さまが家庭で行って（受けて）いる医療的ケアをお答えください。
(n=125)



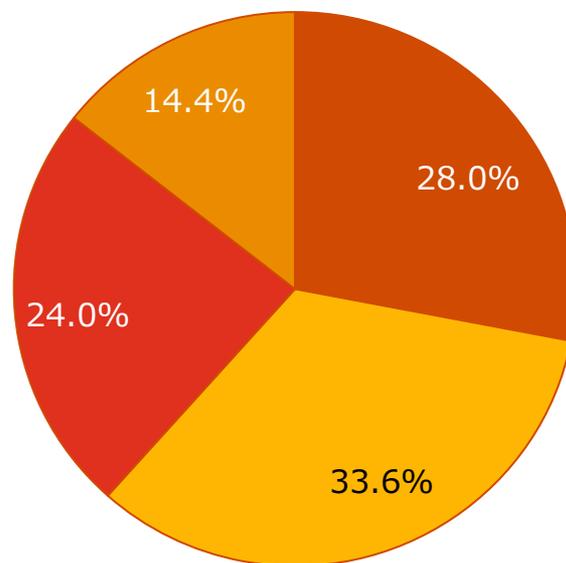
17. 直近1年間の病院への通院頻度

Q18. お子さまの直近1年間の病院への通院頻度をお答えください。(n=125)



18. 在宅での生活を支えることへの不安や悩みの有無

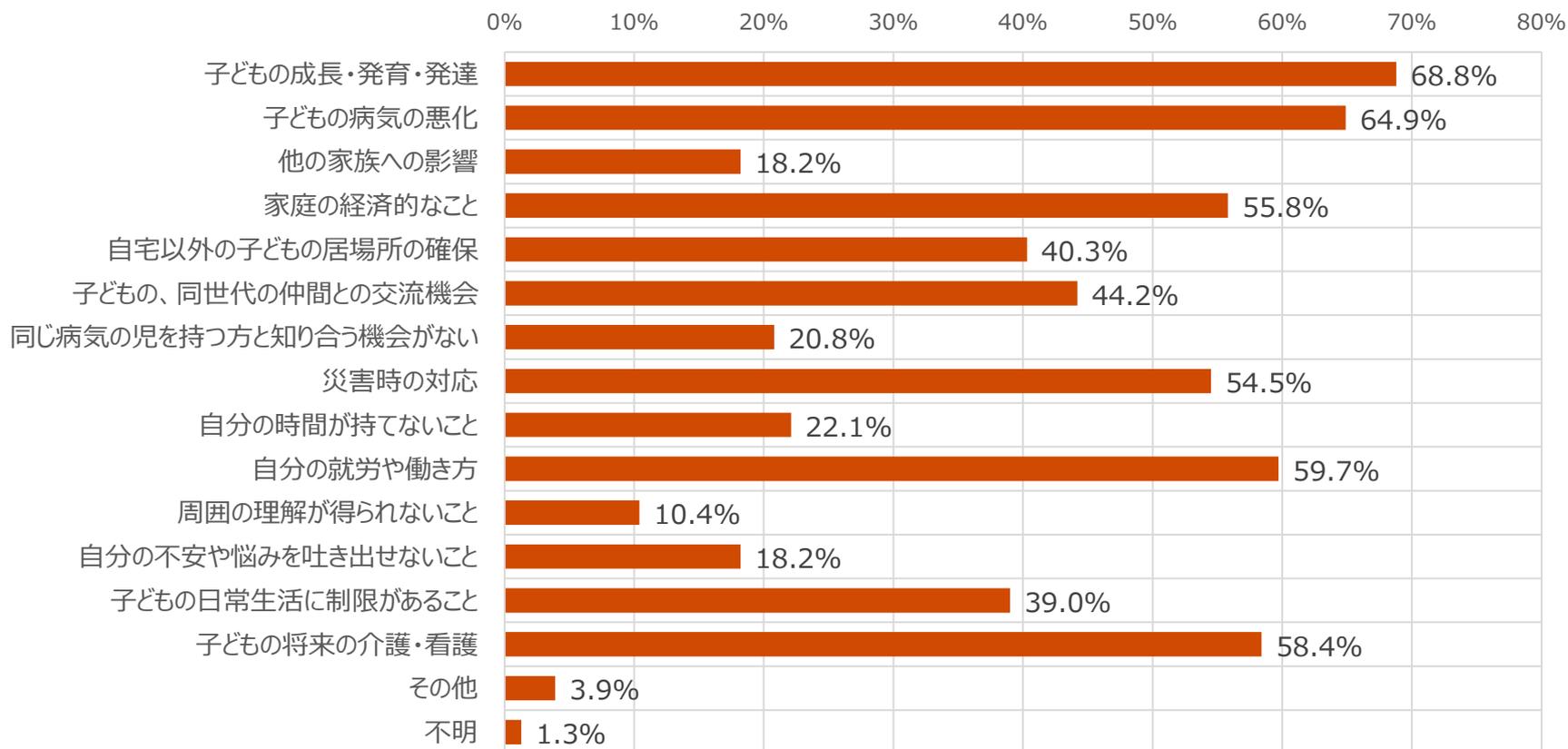
Q19. あなたはお子さまの在宅での生活を支えることに不安や悩みを感じてはありますか。(n=125)



■ ある ■ どちらかというところ ■ どちらかというところない ■ ない

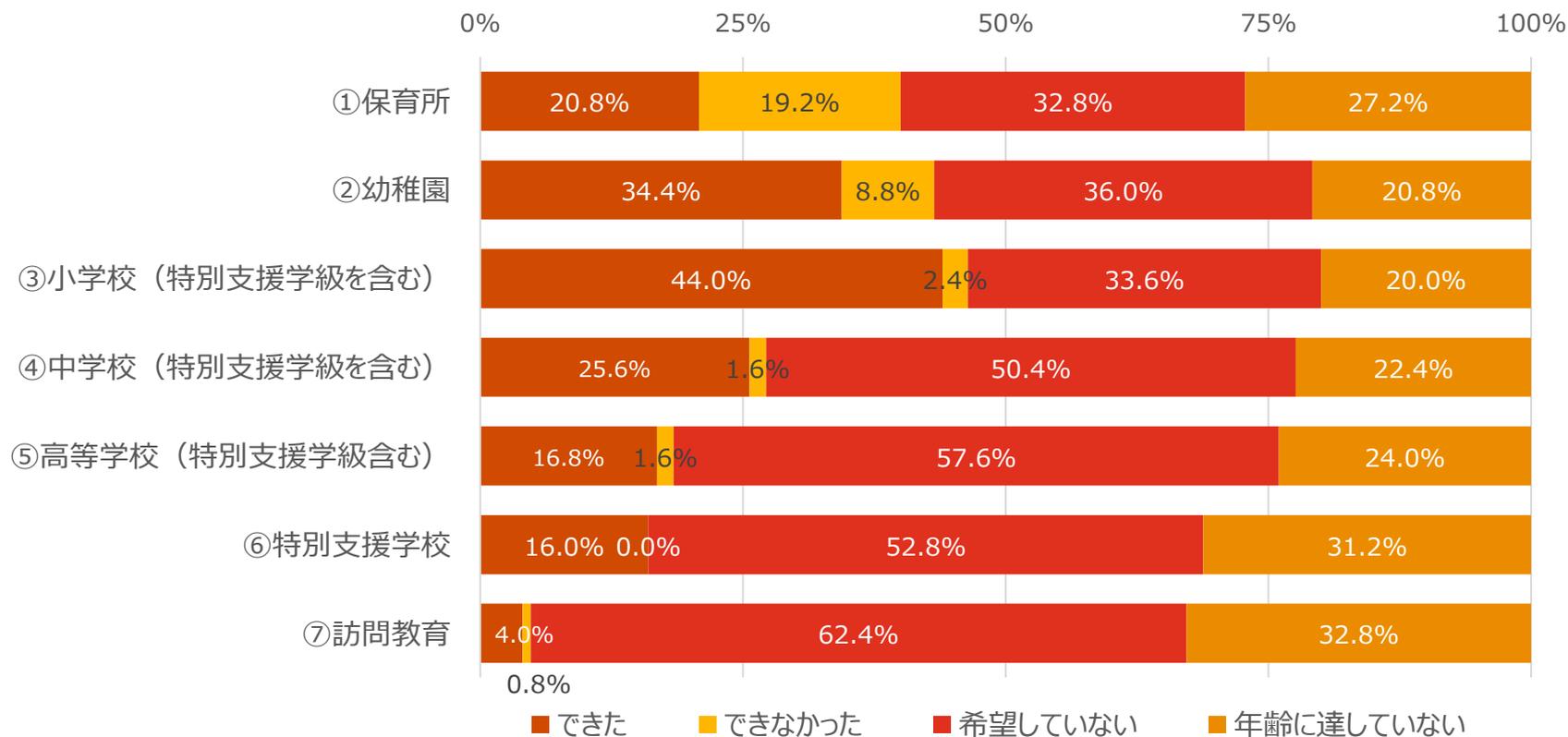
19. 在宅での生活を支えることの不安や悩み

Q20. あなたの不安や悩みについて当てはまることをお答えください。(n=77)



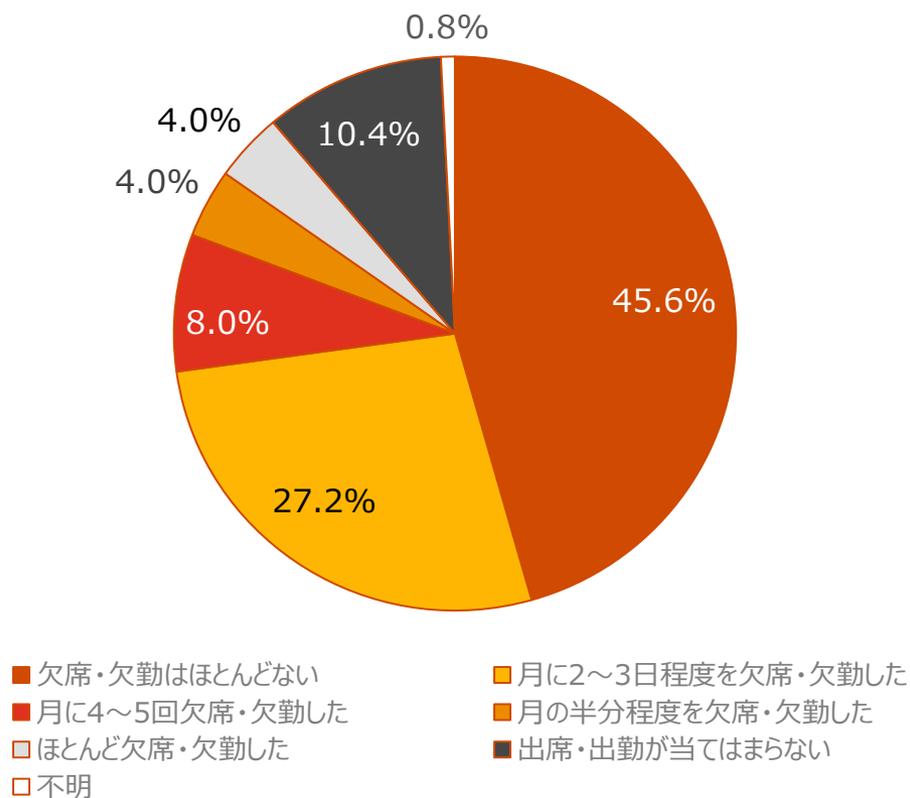
20. 希望通りの入学・入園ができなかった経験

Q21. お子さまはこれまでに小児慢性特定疾病に関連する必要な相談等を経て、あなたやお子さまが希望する学校や保育所等の施設への入学・入園ができましたか。(n=125)



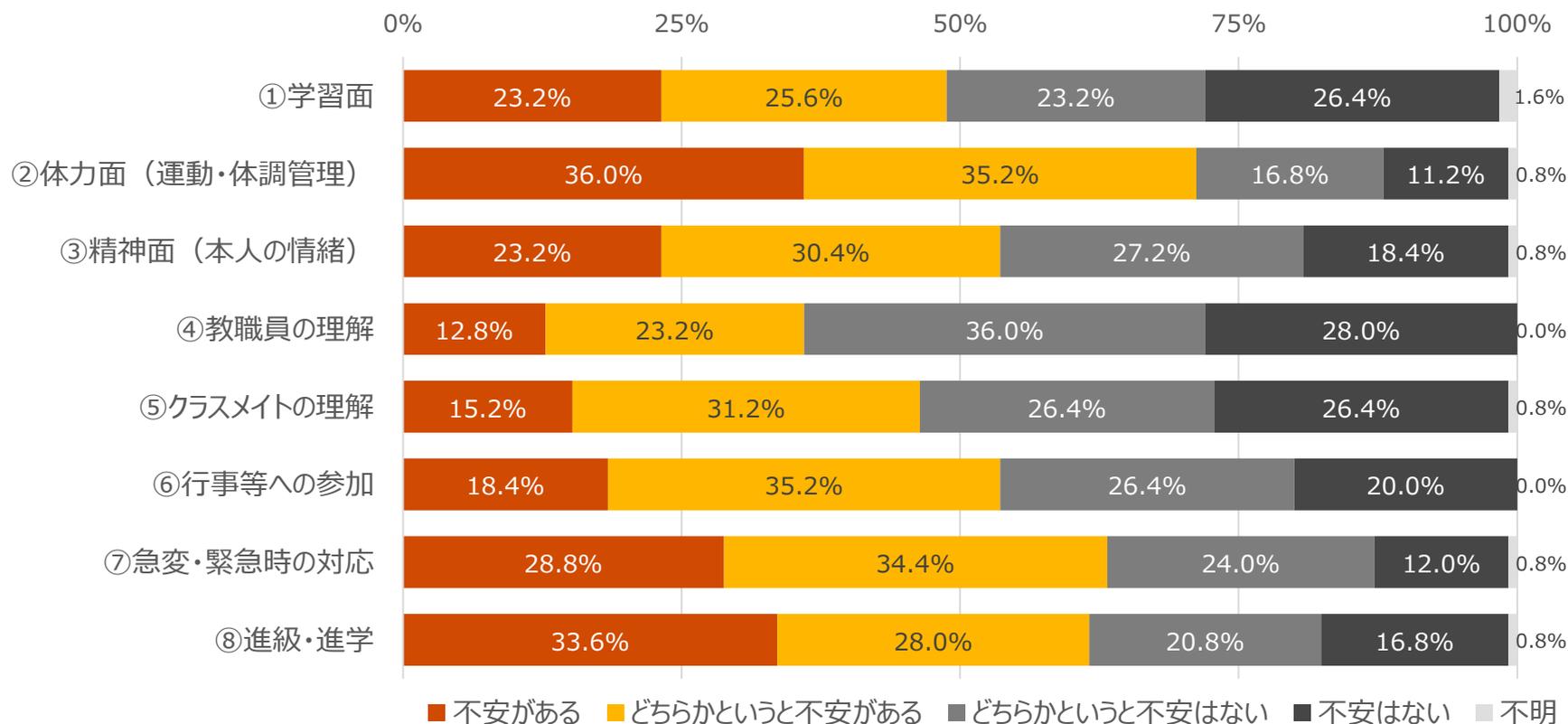
21. 欠席・欠勤状況

Q22. お子さまの、この1年間の欠席・欠勤状況をお答えください。(n=125)



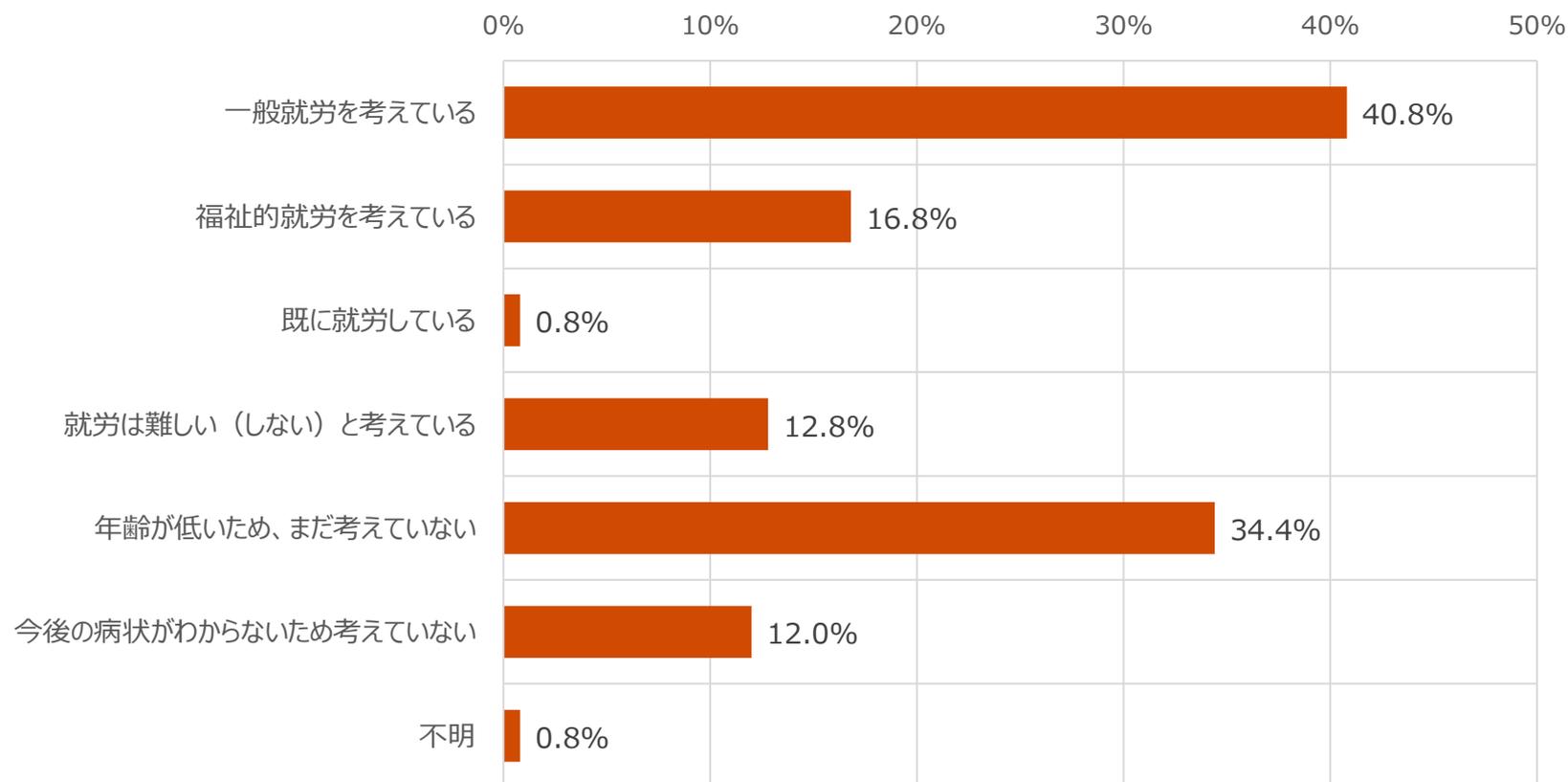
22. 学校や保育所等での生活についての不安

Q23. お子さまの学校や保育所等での活動について、あなたが不安に思っていることをお答えください。(n=125)



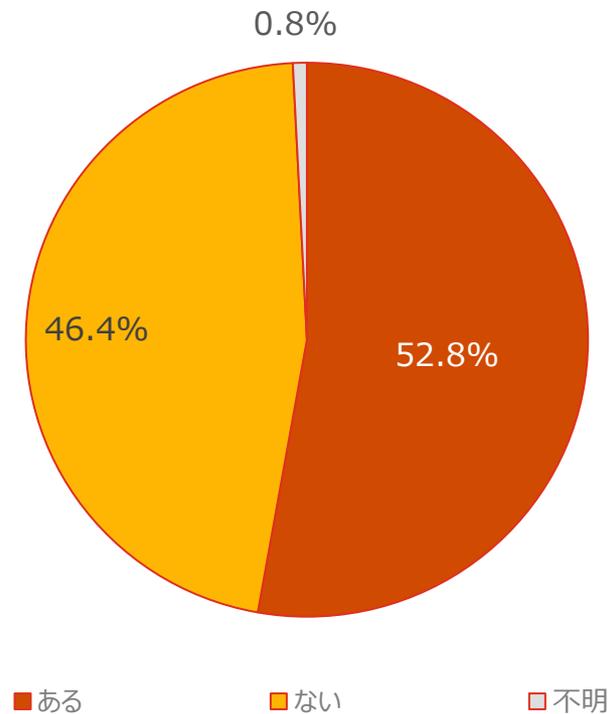
23. 就労についての考え

Q24. あなたはお子さまの就労について、どのように考えていますか。(n=125)



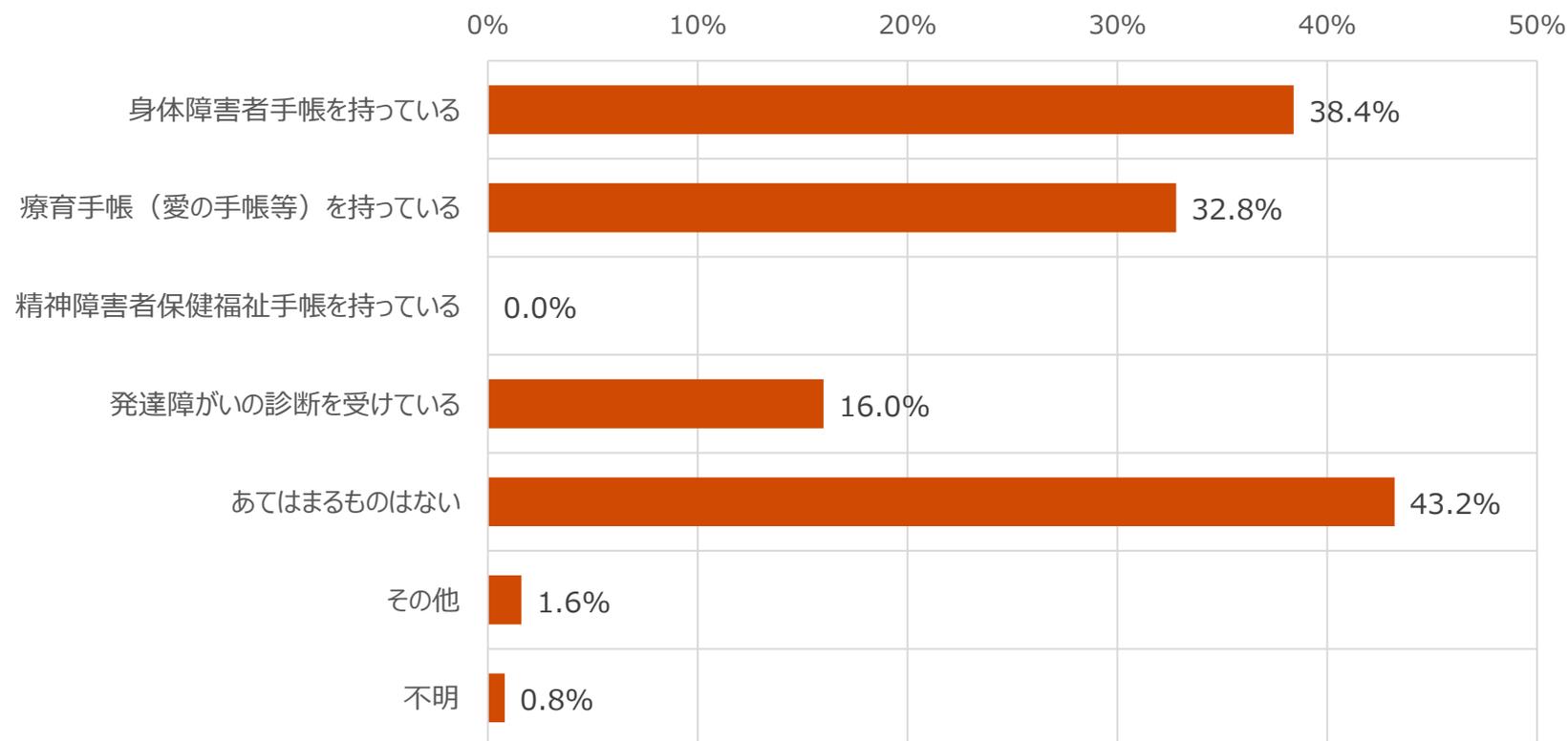
24. 就労についての不安や悩み

Q25. お子さまの就労について、不安や悩みはありますか。(n=125)



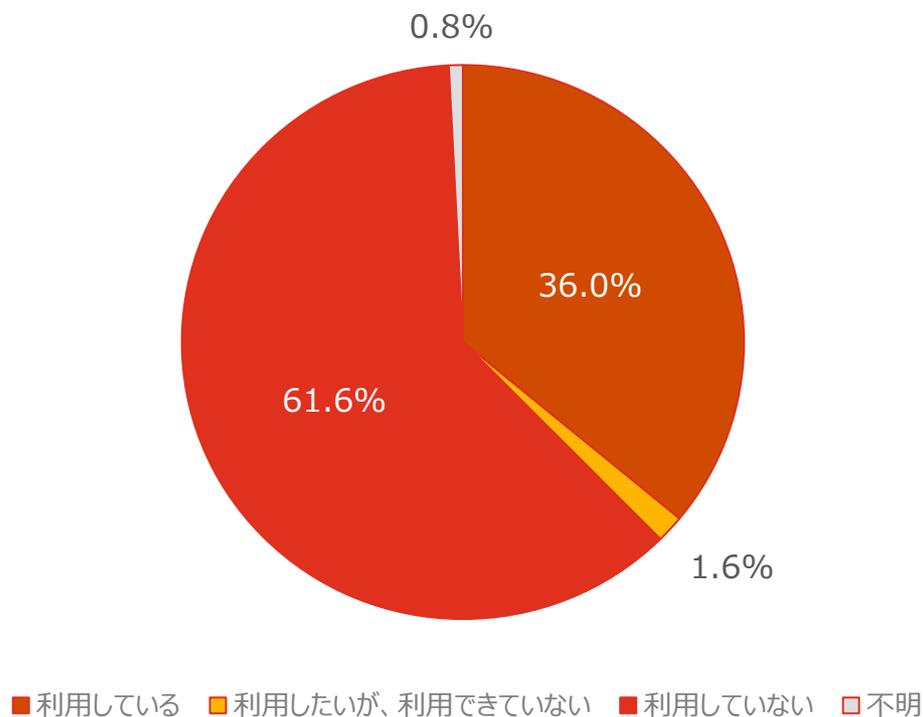
25. 心身の状態

Q27. お子さまの心身の状態について、あてはまるものをお答えください。(n=125)



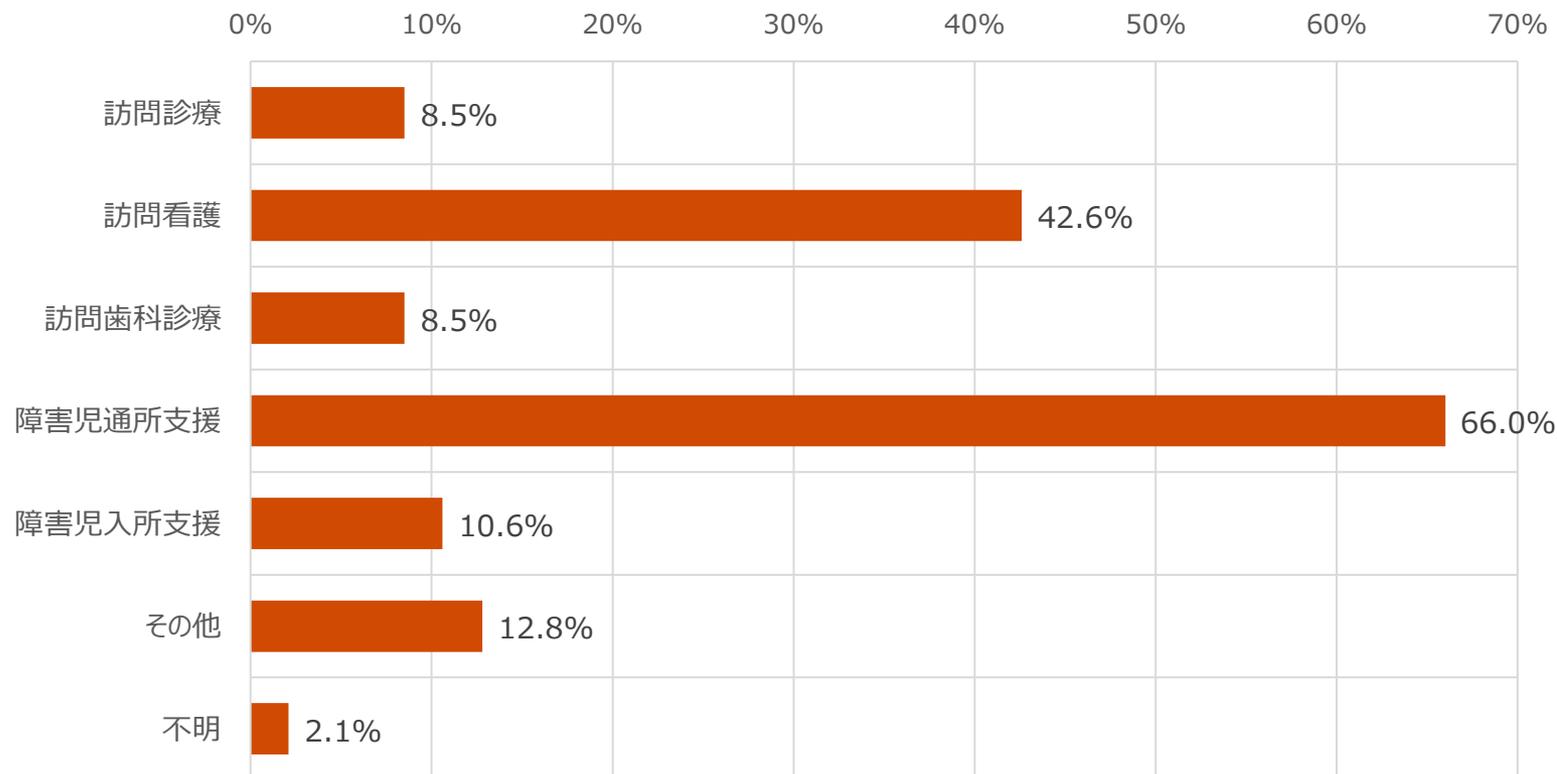
26. 医療や福祉に関するサービスの利用

Q28. お子さまは現在、通院や保育所・幼稚園に在籍する以外で、医療や福祉に関するサービスを利用していますか。（n=125）



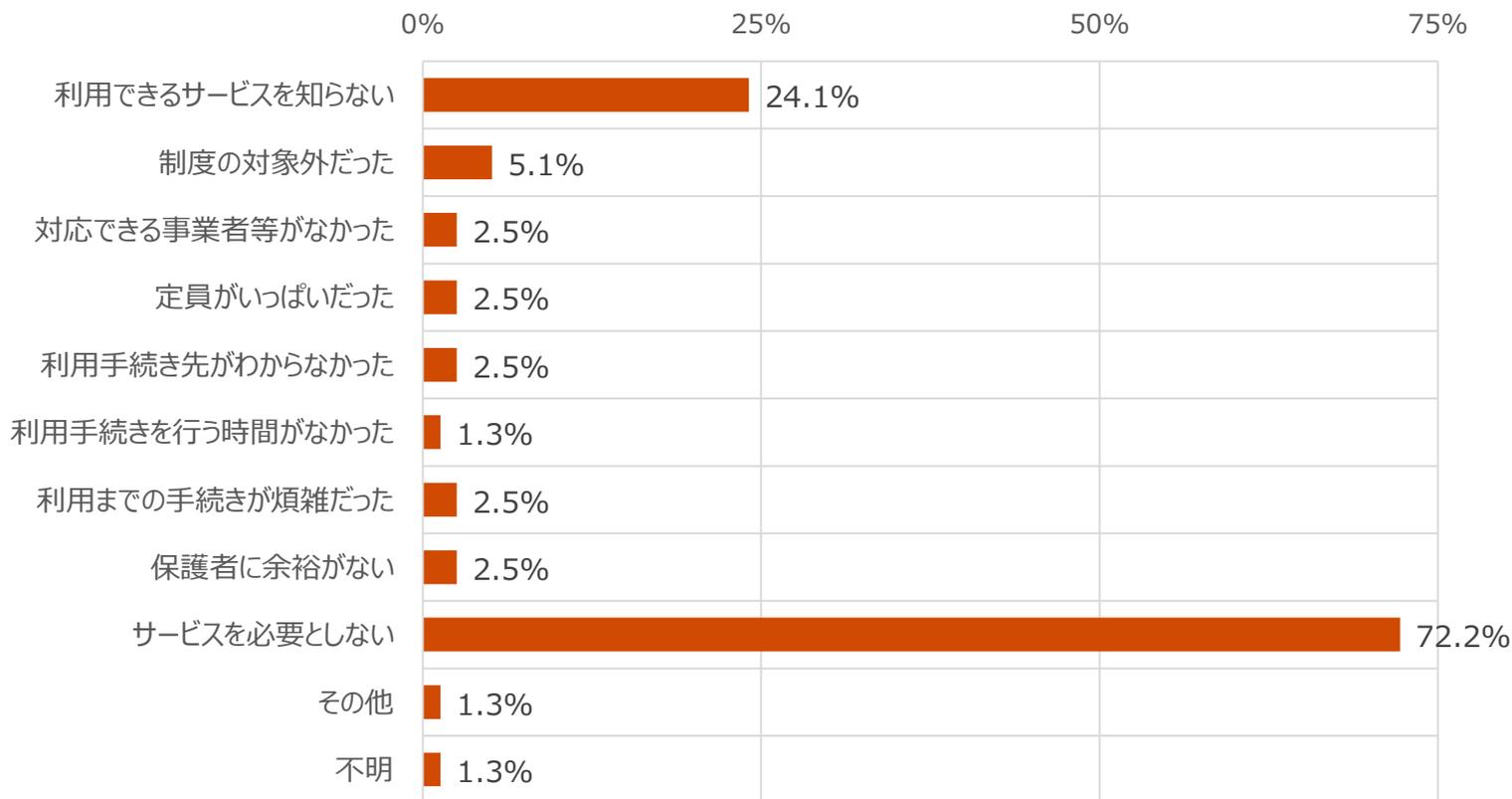
27. 利用している・利用を希望しているサービス

Q29. 利用している、もしくは利用を希望しているサービスをお答えください (n=47)



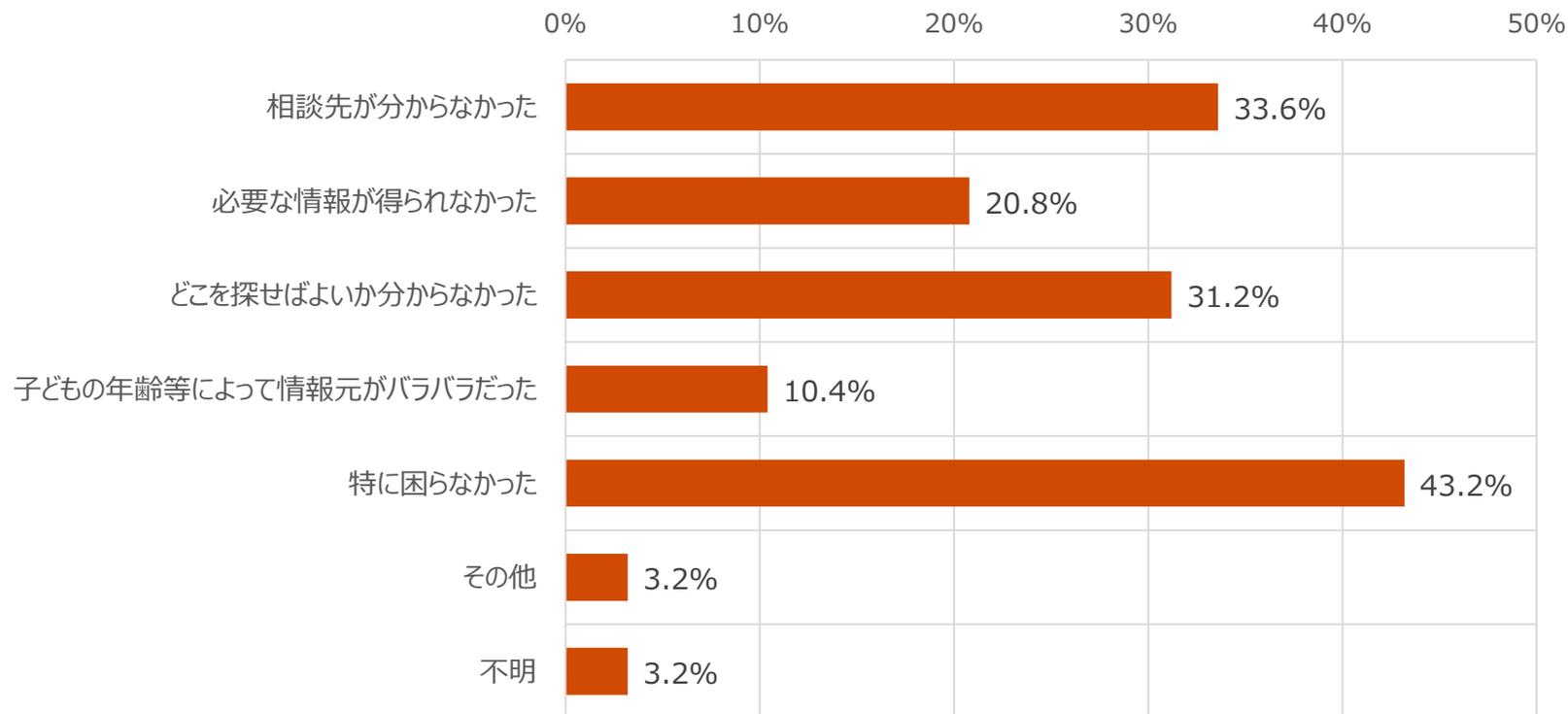
28. 利用していない（利用できていない）理由

Q30. 利用していない（利用できていない）理由をお答えください。（n=79）



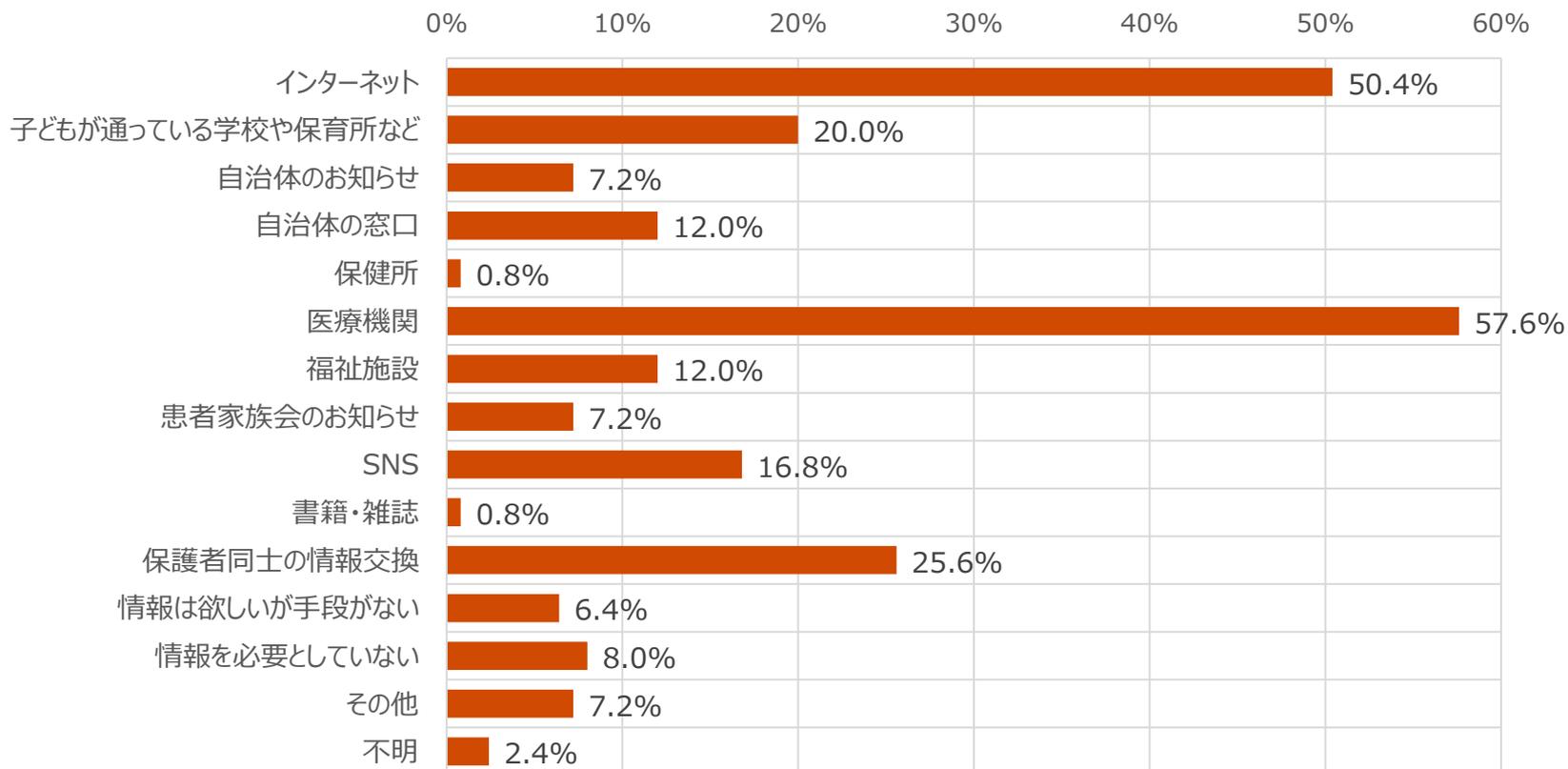
29. 医療・福祉サービス等の情報入手する際に困ったこと

Q31. あなたは医療・福祉サービス等の情報入手する際に困ったことはありましたか。(n=125)



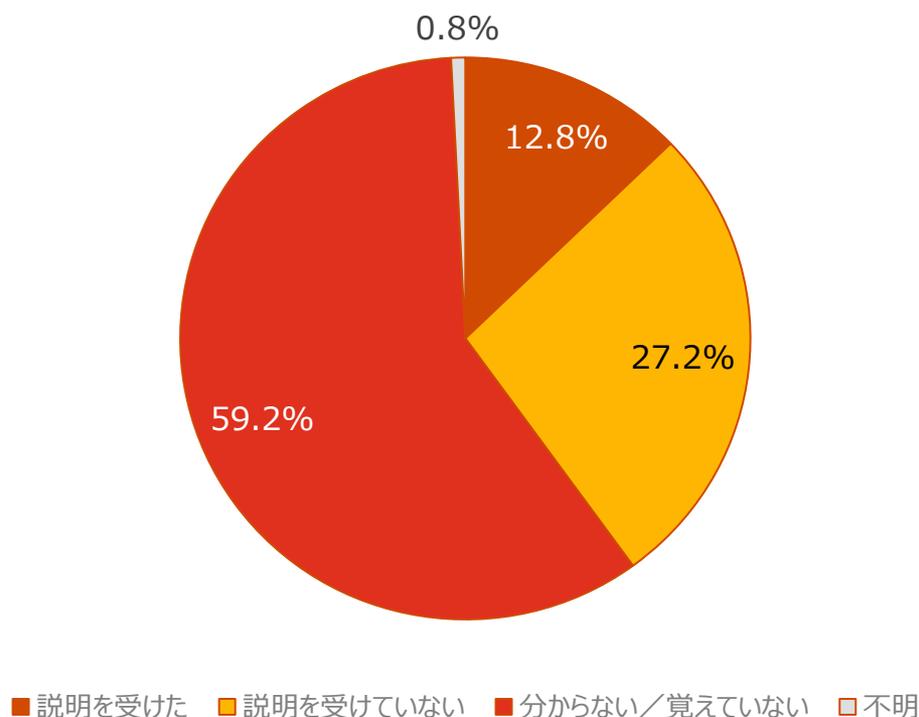
30. 医療・福祉サービス等の情報入手手段

Q32. あなたはお子さまに関する医療や福祉サービスの情報をどのような手段で入手していますか。(n=125)



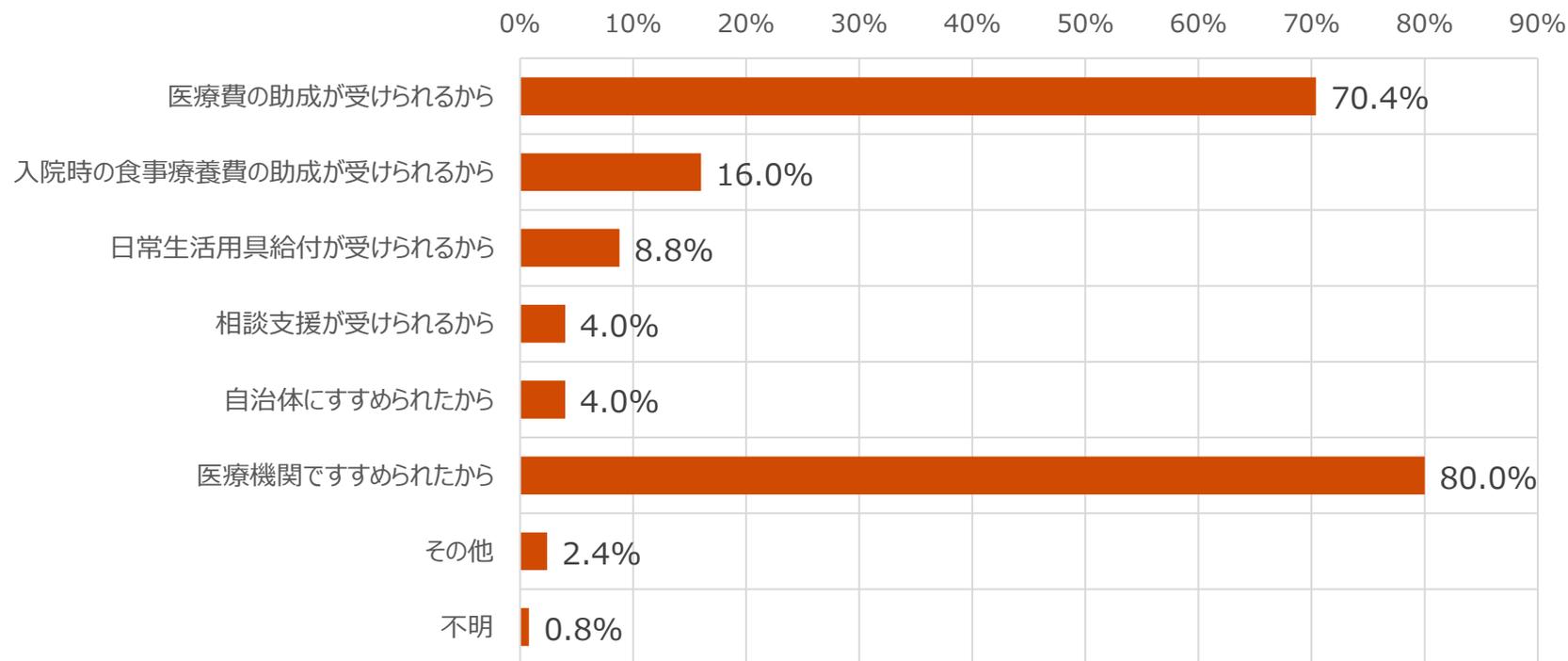
31. 自立支援事業の説明の有無

Q33.あなたは、小児慢性特定疾病医療費助成を申請する際に、自治体から自立支援事業に関する説明を受けましたか。(n=125)



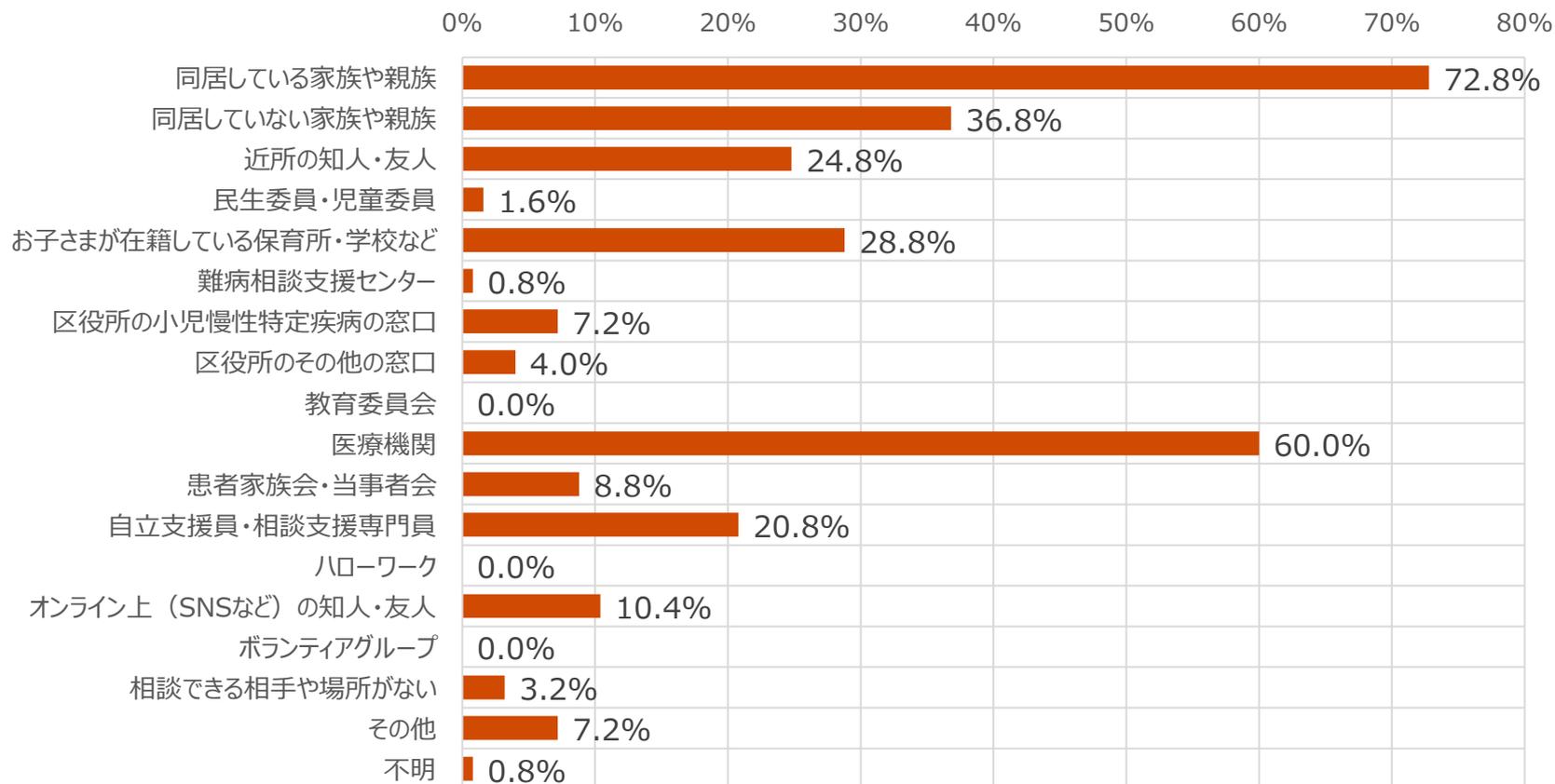
32. 小児慢性特定疾病医療費助成の申請理由

Q34.お子さまの小児慢性特定疾病医療費助成を申請した理由をお答えください。(n=125)



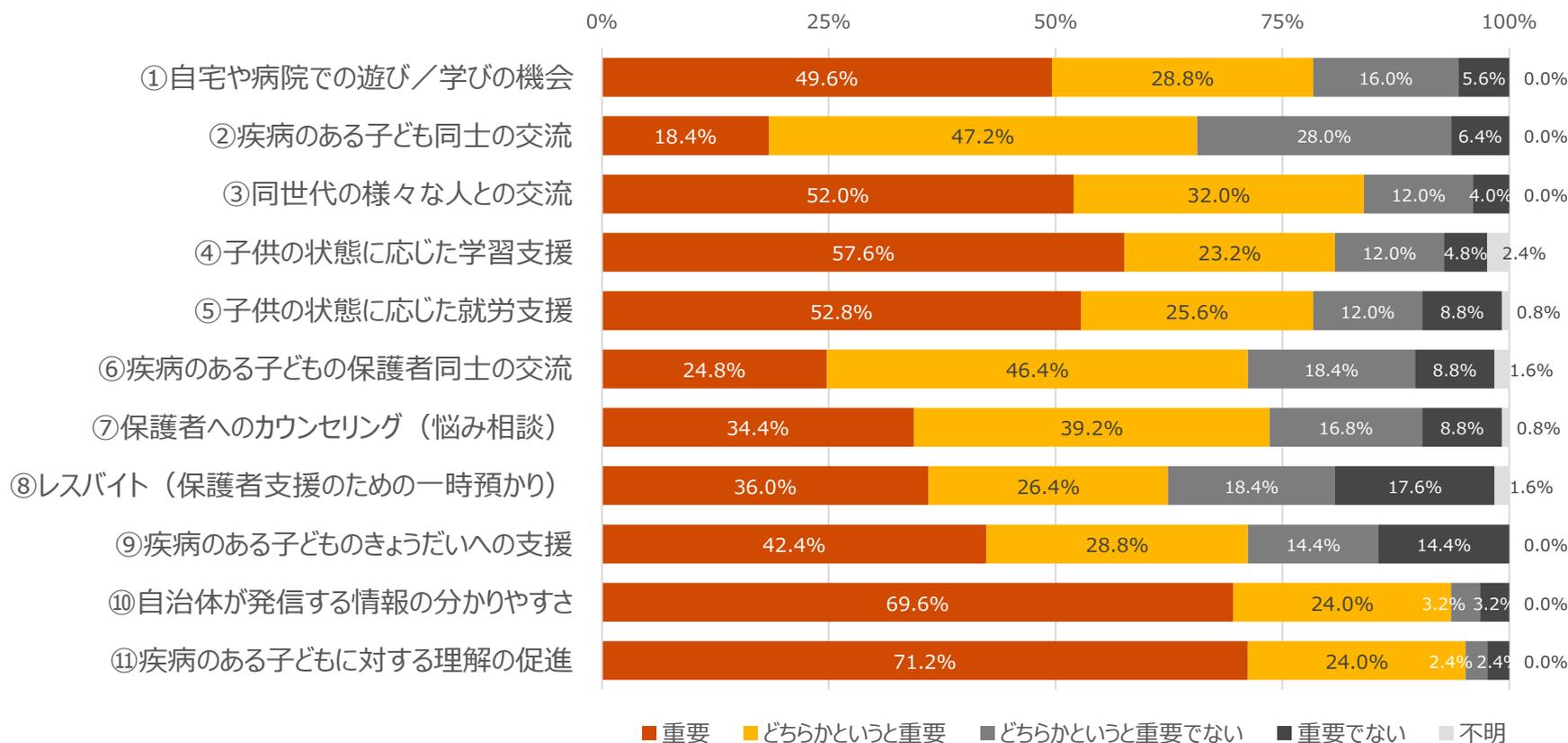
33. 相談できる相手や場所

Q35.お子さまの家庭での生活や学校生活、福祉サービスの利用等について、あなたが相談できる相手や場所を教えてください。(n=125)



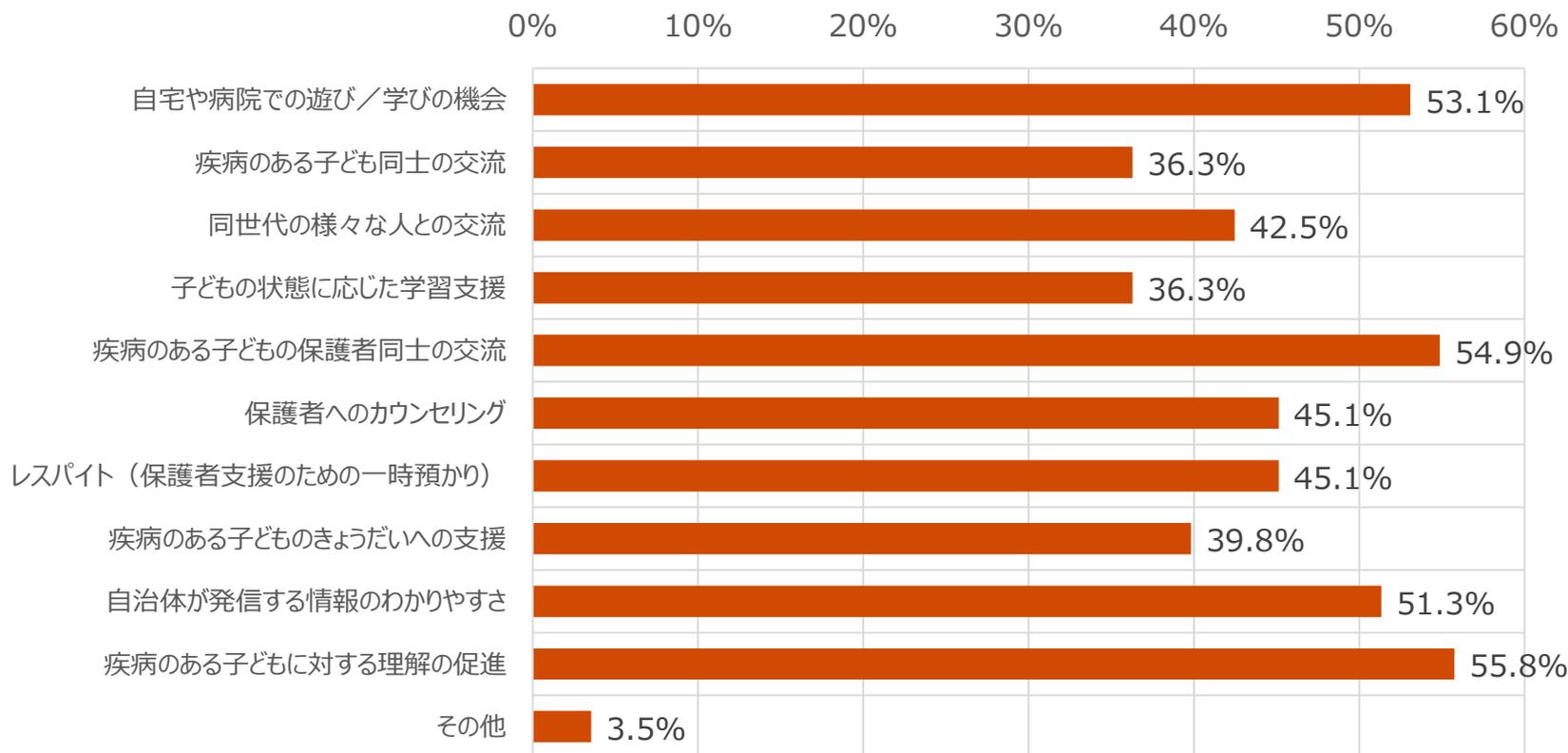
34. こどもの成長や自立のために必要なことの重要度

Q36. お子さまの成長や自立のために現時点で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。(n=125)



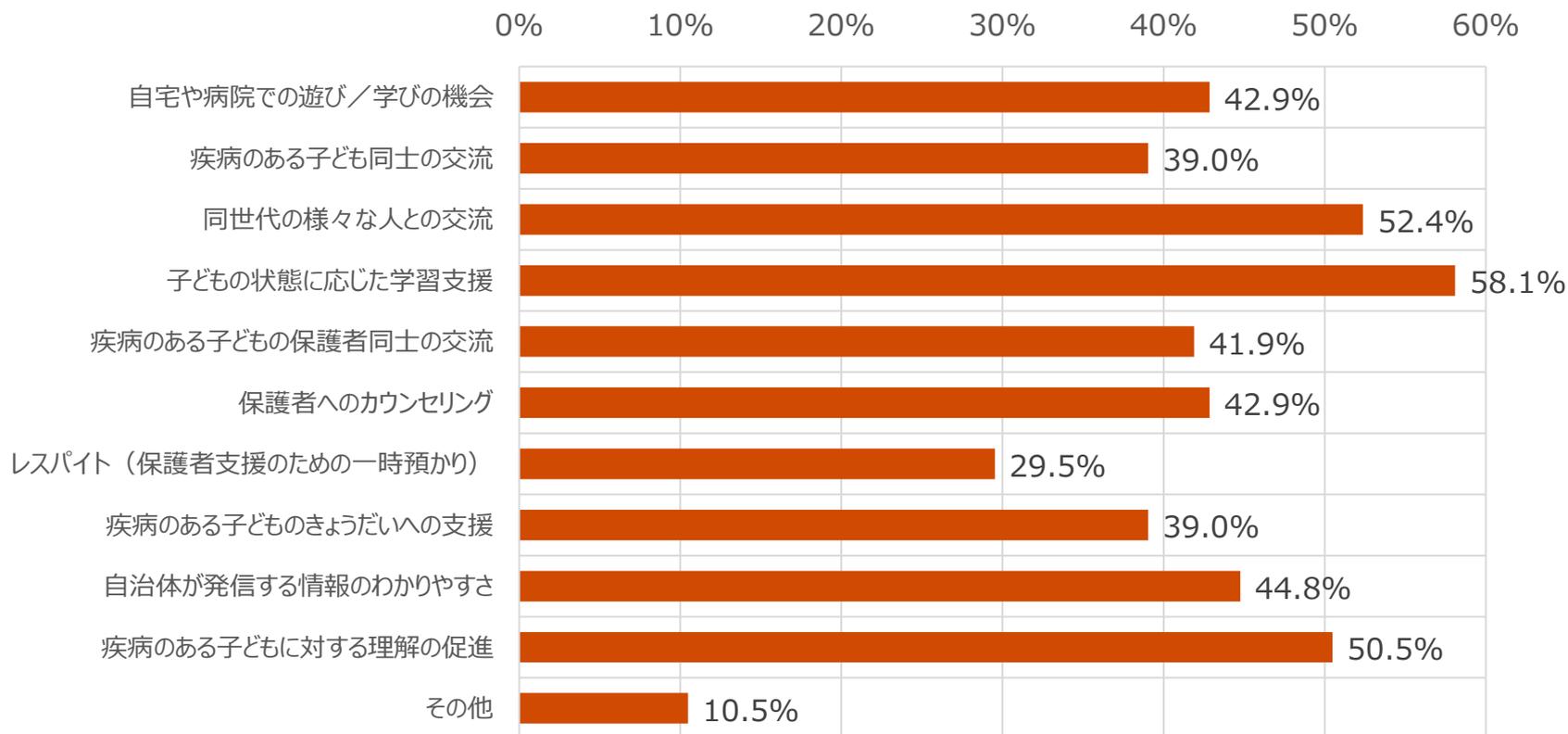
35. 乳幼児期に必要なだったと思う支援やサービス

Q37. お子さまの乳幼児期に必要なだったと思う支援やサービスはありますか。(n=113)



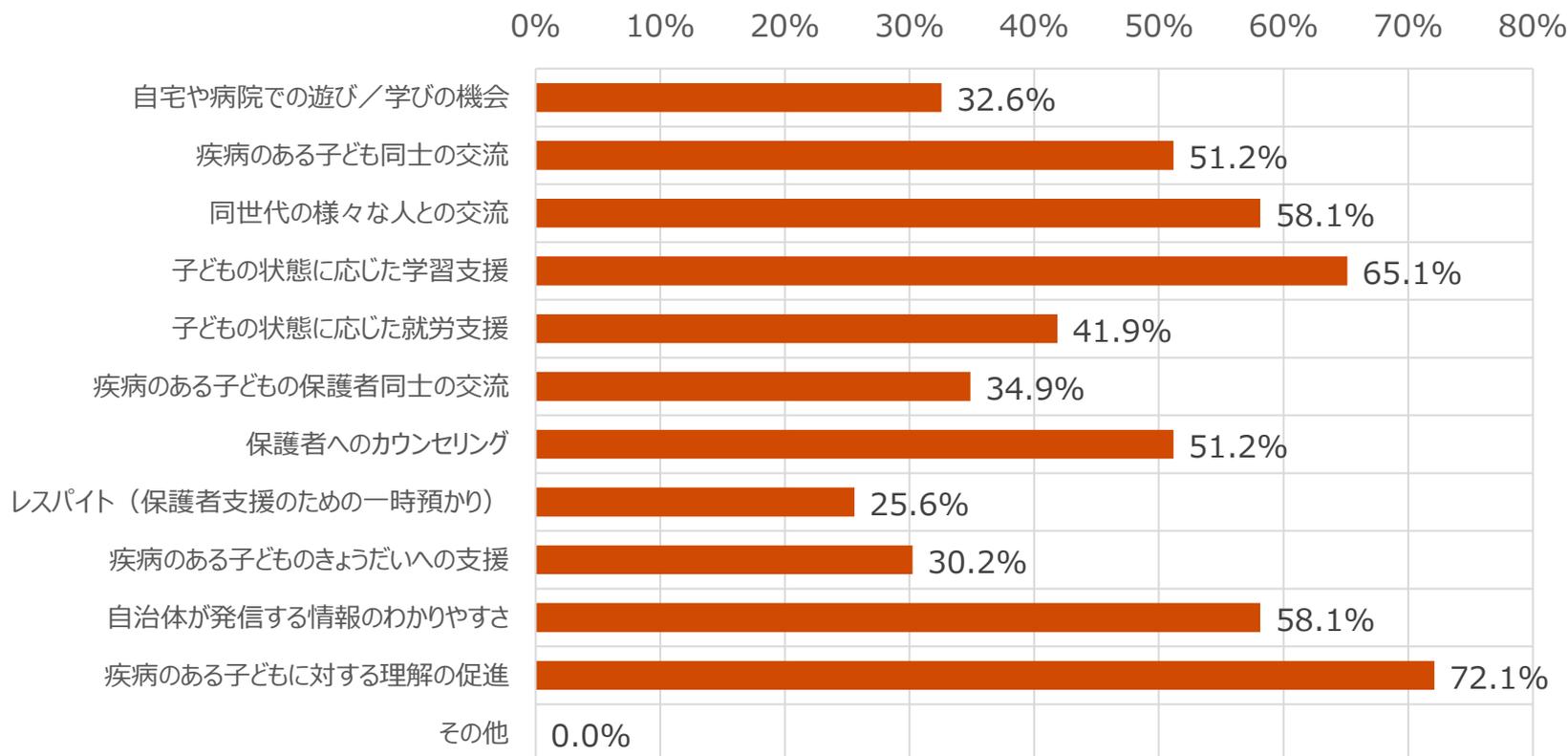
36. 児童期に必要なだったと思う支援やサービス

Q38. お子さまの児童期に必要なだったと思う支援やサービスはありますか。(n=105)



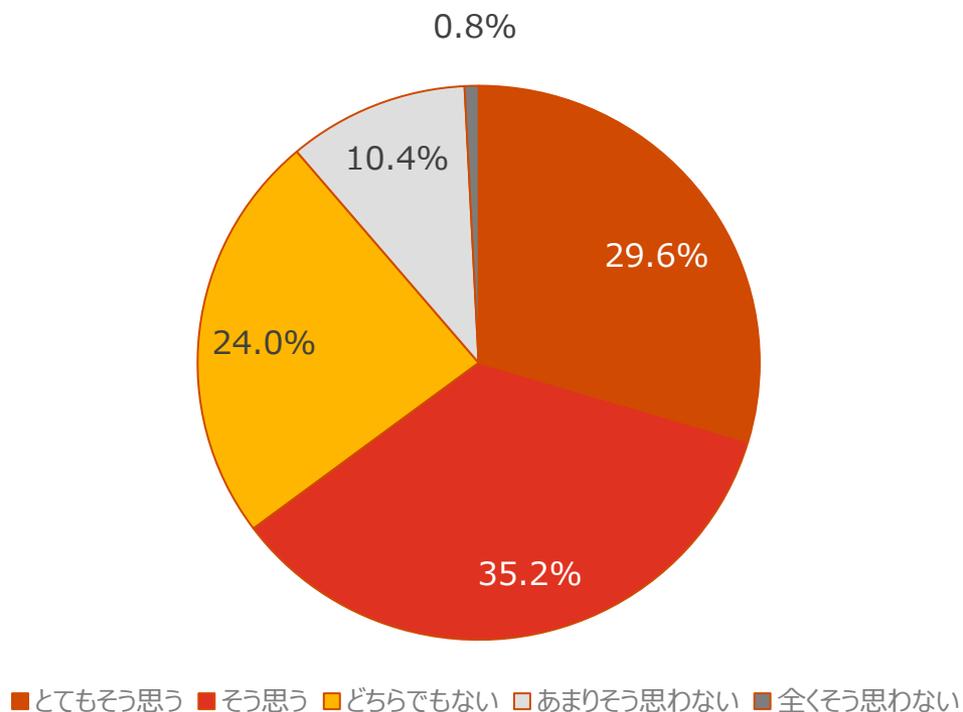
37. 青年期に必要だったと思う支援やサービス

Q39. お子さまの青年期に必要だったと思う支援やサービスはありますか。(n=43)



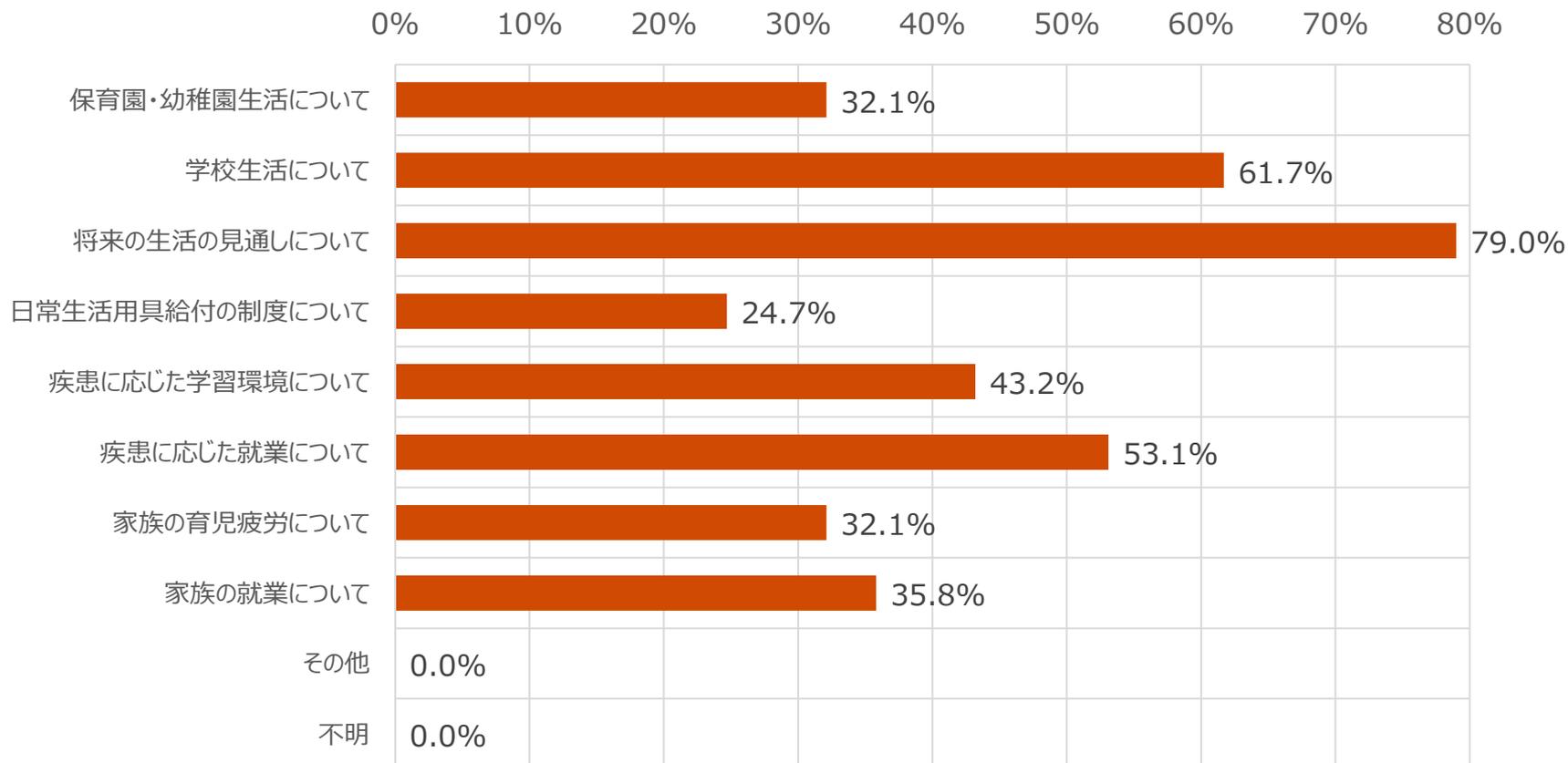
38. 専用の相談窓口が開設された場合の利用

Q40. お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口が開設された場合、利用したいと思いますか。(n=125)



38. 相談したい内容

Q41. Q40で「1. とてもそう思う」「2. そう思う」を選択された場合、どのような内容を相談したいですか。(n=81)



3

保護者向け調査の
クロス集計結果 まとめ

1-1. クロス集計の結果概要

「相談支援事業」「努力義務事業」に関するクロス集計結果を整理いたしました。

クロス集計の結果（全体の傾向）

相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 「相談窓口の利用意向×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「とてもそう思う」「そう思う」と回答したのは73%、ない場合は「とてもそう思う」「そう思う」と回答したのは61%。 →医療的ケア・障害者手帳がある場合は、ない場合に比べて、12ポイント高かった。
	<ul style="list-style-type: none"> 「相談したい内容×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「将来の生活の見通し」85%「疾患に応じた学習環境」56%、ない場合は「将来の生活の見通し」76%「学校生活について」70%。 →医療的ケア・障害者手帳の有無に関わらず、「将来の生活の見通し」のニーズは高かった。「疾患に応じた学習環境」が医療的ケア・障害者手帳がある場合はない場合に比べて19ポイント高く、「学校生活について」は医療的ケアがある場合はない場合に比べて26ポイント高かった。
努力義務事業	<ul style="list-style-type: none"> 「乳幼児期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「遊び/学びの機会」「レスパイト」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」62%、ない場合は「自治体が発信する情報のわかりやすさ」59%「疾病のある子どもの保護者同士の交流」54%。 →医療的ケア・障害者手帳の有無に関わらず「自治体が発信する情報のわかりやすさ」のニーズは高かった。医療的ケア・障害者手帳がある場合はない場合に比べて「レスパイト」は26ポイント、「自治体が発信する情報のわかりやすさ」は16ポイント高かった。
	<ul style="list-style-type: none"> 「児童期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「学習支援」74%「同世代交流」60%、ない場合は「学習支援」「疾病のある子どもの保護者同士の交流」50%。 →医療的ケア・障害者手帳の有無に関わらず「学習支援」のニーズは高かった。医療的ケア・障害者手帳がある場合はない場合に比べて「同世代交流」は11ポイント高かった。

1-2. クロス集計の結果概要

「相談支援事業」「努力義務事業」に関するクロス集計結果を整理いたしました。

クロス集計の結果（全体の傾向）

- 「青年期に必要なと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「学習支援」88%「理解促進」75%、ない場合は、「自治体が発信する情報のわかりやすさ」71%「同世代交流」「学習支援」60%。
→医療的ケア・障害者手帳の有無に関わらず「学習支援」のニーズは高かった。医療的ケア・障害者手帳がある場合はない場合に比べて「レスパイト」は30ポイント、「就労支援」は25ポイント高かった。
- 「不安や悩みの有無×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「ある」「どちらかというところ」と回答したのは81%、ない場合は「ある」「どちらかというところ」と回答したのは53%。
→医療的ケア・障害者手帳がある場合は、ない場合に比べて、不安や悩みがあると回答したのは28ポイント高かった。
- 「不安や悩みの内容×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「成長・発育・発達」77%「子どもの将来の介護・看護」73%、ない場合は「子どもの病気の悪化」66%「成長・発育・発達」64%でした。
→医療的ケア・障害者手帳の有無に関わらず「成長・発育・発達」と回答した割合が高かった。医療的ケア・障害者手帳がある場合はない場合に比べて「子どもの日常生活に制限があること」「子どもの将来の介護・看護」は24ポイント「自分の就労や働き方」は17ポイント高かった。
- 「就労に関する不安の有無×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「ある」と回答したのは54%、ない場合は「ある」と回答したのは53%。
→医療的ケア・障害者手帳がある場合は、ない場合に比べて、就労に関する不安や悩みがあると回答したのはほぼ同数だった。

4

保護者向け調査の
クロス集計結果 資料

1. クロス集計軸の一覧

単純集計結果を踏まえ、ニーズの差異や新たなニーズを明らかにすることを目的として、以下の内容でクロス集計を実施しました。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 問40相談窓口の利用意向×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業のニーズを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する
	<ul style="list-style-type: none"> 問41相談したい内容×医療的ケア・障害者手帳の有無 	
努力義務事業	<ul style="list-style-type: none"> 問37乳幼児期に必要なだったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 支援やサービスのニーズを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する
	<ul style="list-style-type: none"> 問38児童期に必要なだったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無 	
	<ul style="list-style-type: none"> 問39青年期に必要なだったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無 	
	<ul style="list-style-type: none"> 問19不安や悩みの有無×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する
	<ul style="list-style-type: none"> 問20不安や悩みの内容×医療的ケア・障害者手帳の有無 	
	<ul style="list-style-type: none"> 問25就労に関する不安の有無×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 就労の不安や悩みを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する

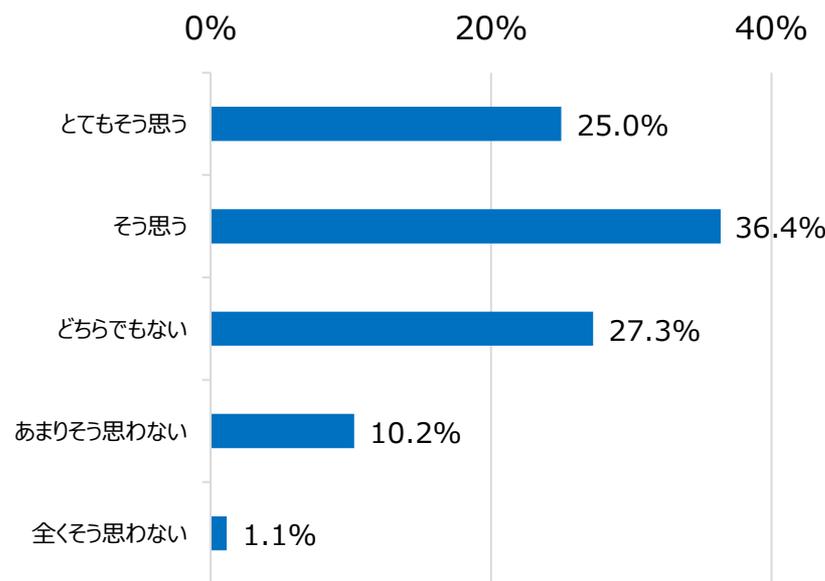
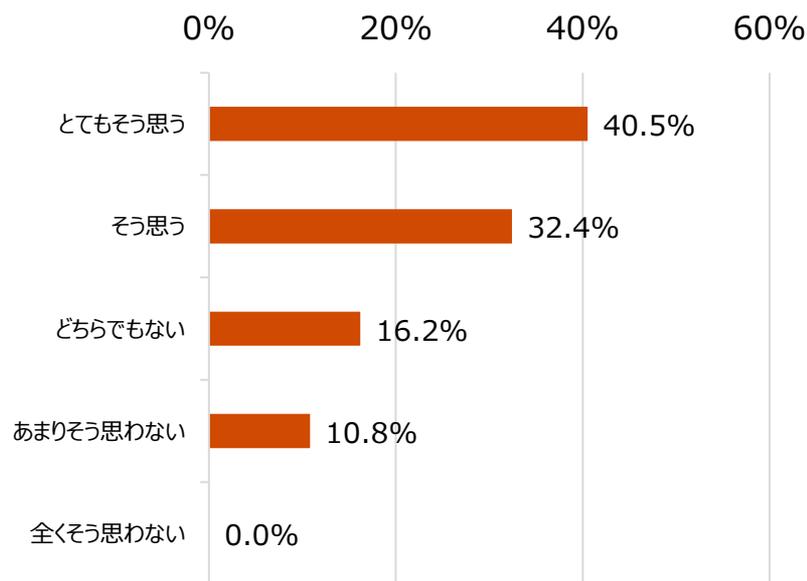
2-1. 相談支援事業に関するクロス集計

「相談窓口の利用意向×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「とてもそう思う」「そう思う」と回答したのは73%、ない場合は「とてもそう思う」「そう思う」と回答したのは61%でした。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 問40相談窓口の利用意向×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業のニーズを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する

医療的ケアあり・障害者手帳あり(n=37)

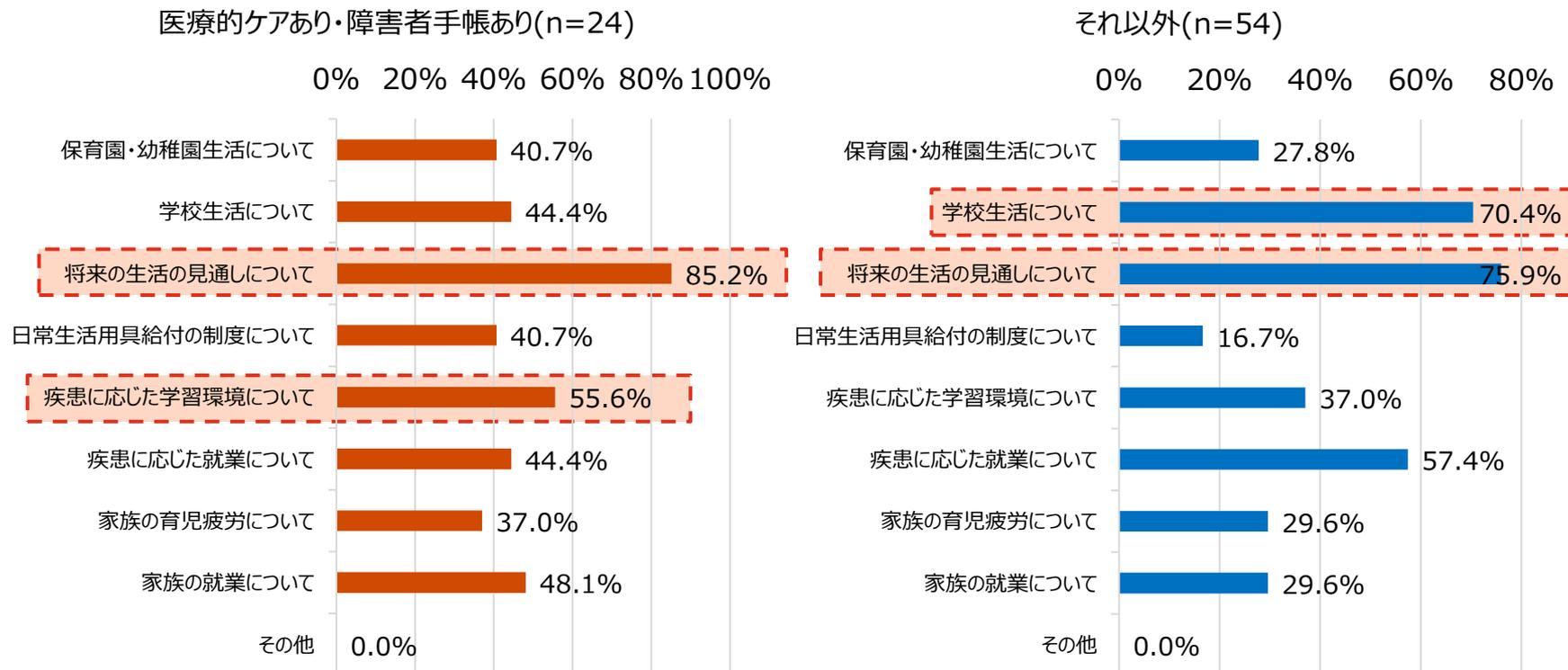
それ以外(n=88)



2-2. 相談支援事業に関するクロス集計

「相談したい内容×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「将来の生活の見通し」85%「疾患に応じた学習環境」56%、ない場合は「将来の生活の見通し」76%「学校生活について」70%でした。

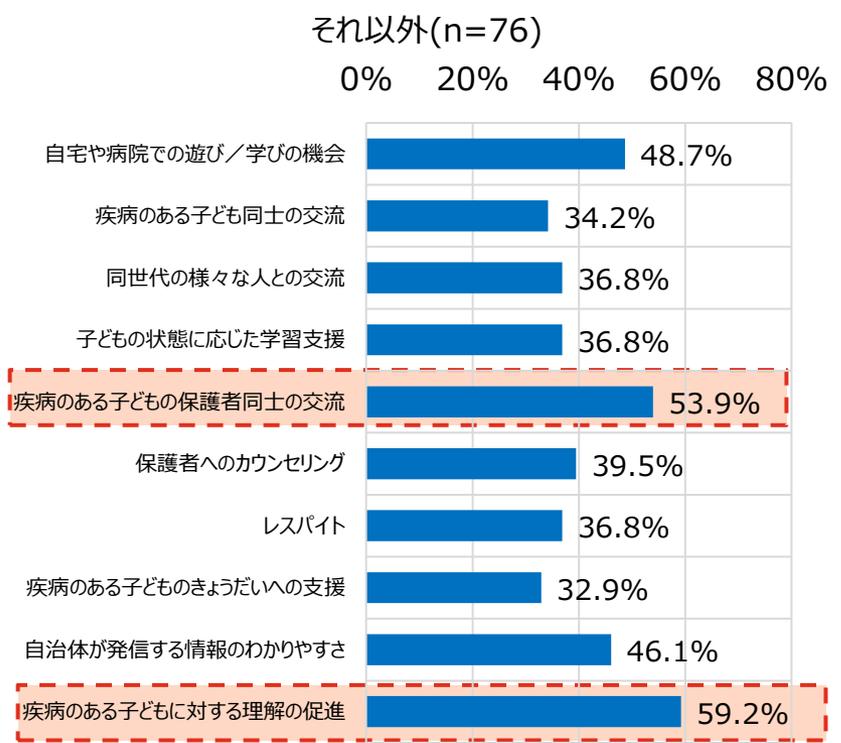
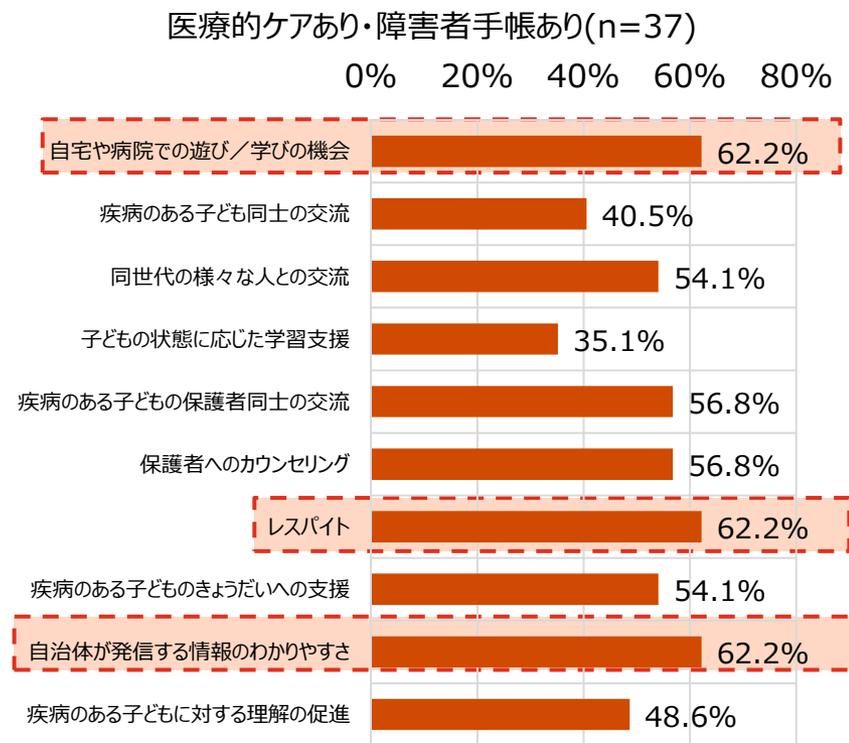
項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
相談支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 問41相談したい内容×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援事業のニーズを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する



3-1. 努力義務事業に関するクロス集計(支援やサービス)

「乳幼児期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「遊び/学びの機会」「レスパイト」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」62%、ない場合は「自治体が発信する情報のわかりやすさ」59%「疾病のある子どもの保護者同士の交流」54%でした。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
努力義務事業	・ 問37乳幼児期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無	・ 支援やサービスのニーズを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する



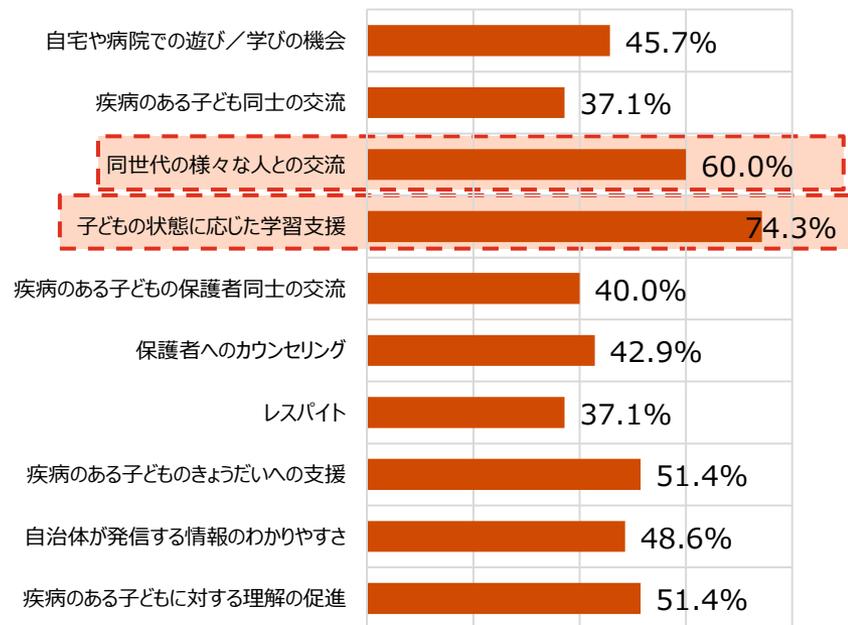
3-2. 努力義務事業に関するクロス集計(支援やサービス)

「児童期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「学習支援」74%「同世代交流」60%、ない場合は「学習支援」「疾病のある子どもの保護者同士の交流」50%でした。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
努力義務事業	・ 問38児童期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無	・ 支援やサービスのニーズを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する

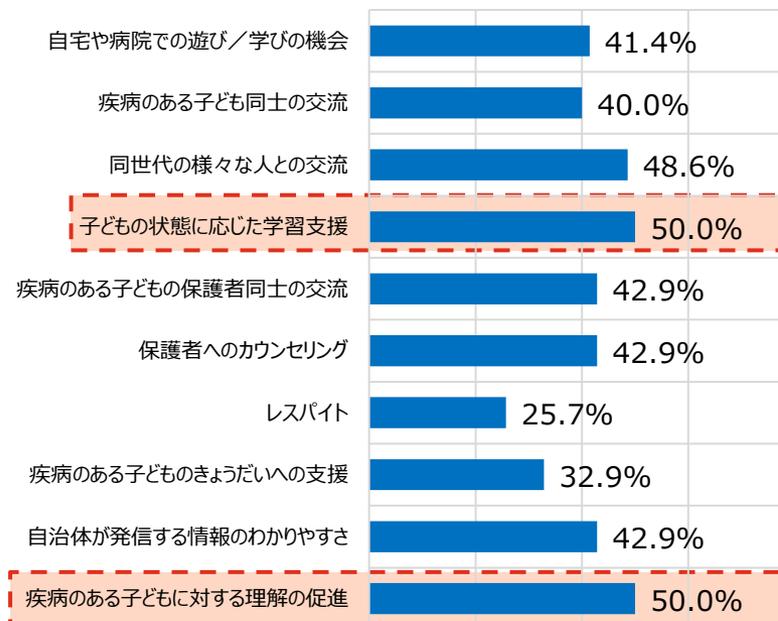
医療的ケアあり・障害者手帳あり(n=35)

0% 20% 40% 60% 80%



それ以外(n=70)

0% 20% 40% 60% 80%



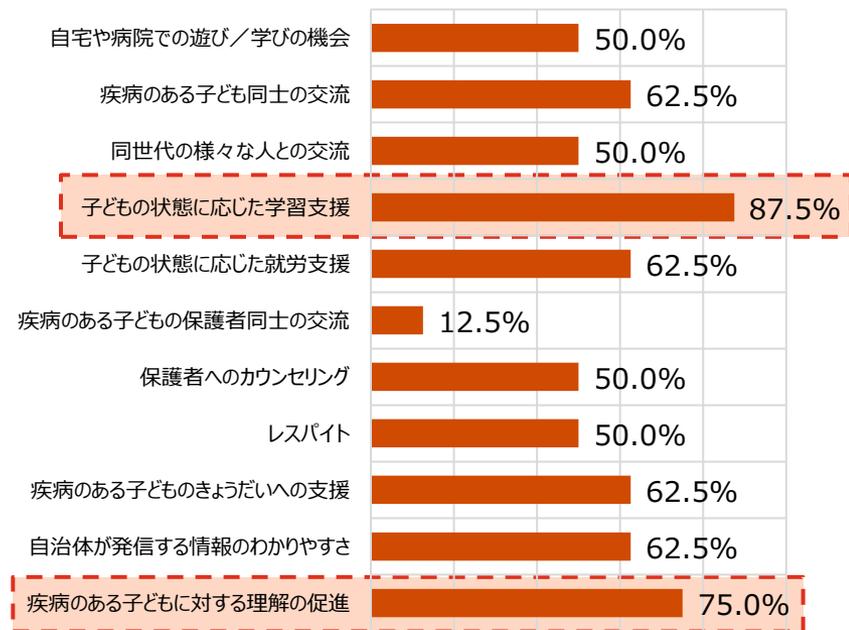
3-3. 努力義務事業に関するクロス集計(支援やサービス)

「青年期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「学習支援」88%「理解促進」75%、ない場合は、「自治体が発信する情報のわかりやすさ」71%「同世代交流」「学習支援」60%でした。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
努力義務事業	・ 問39青年期に必要だったと思う支援やサービス×医療的ケア・障害者手帳の有無	・ 支援やサービスのニーズを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する

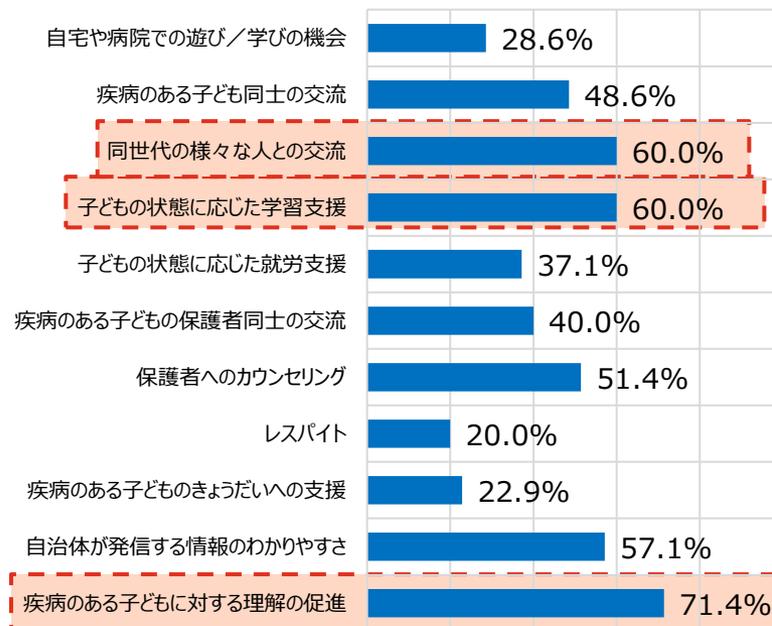
医療的ケアあり・障害者手帳あり(n=8)

0% 20% 40% 60% 80%100%



それ以外(n=35)

0% 20% 40% 60% 80%100%

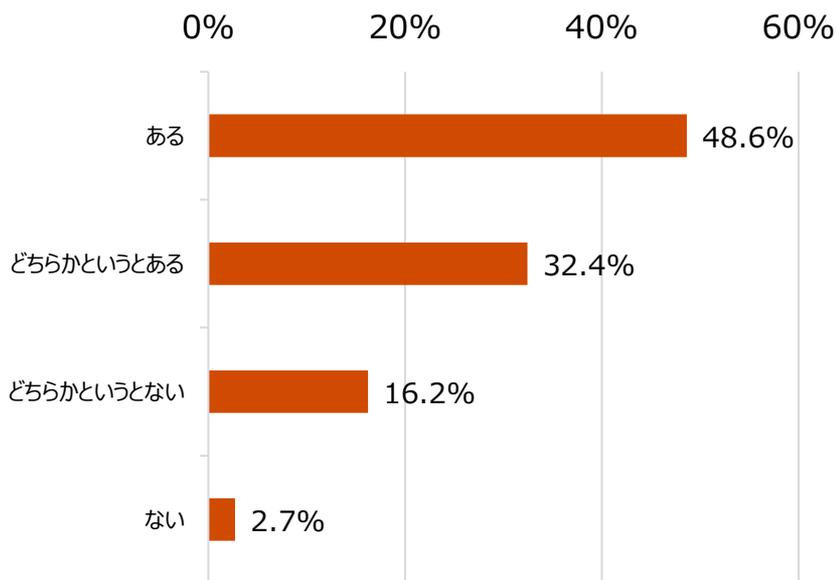


4-1. 努力義務事業に関するクロス集計(不安や悩み)

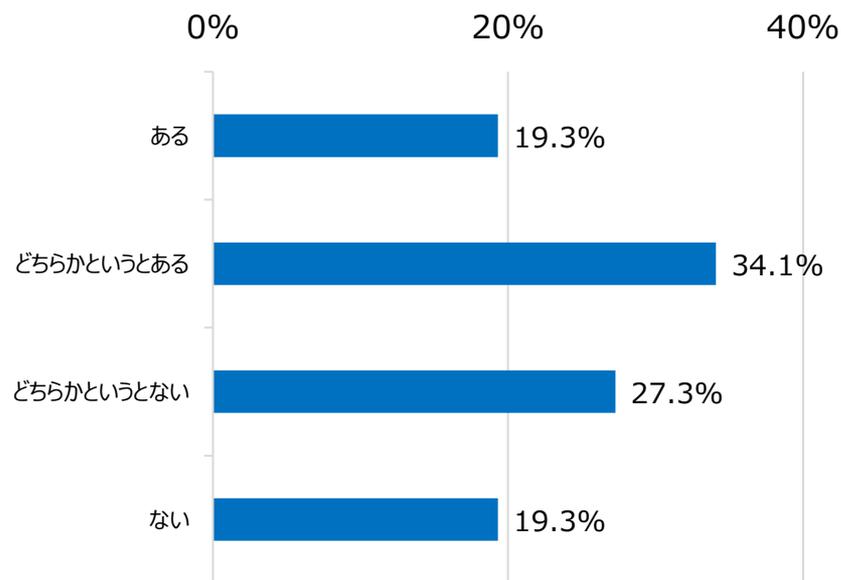
「不安や悩みの有無×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「ある」「どちらかというところ」と回答したのは81%、ない場合は「ある」「どちらかというところ」と回答したのは53%でした。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
努力義務事業	<ul style="list-style-type: none"> 問19不安や悩みの有無×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 不安や悩みを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する

医療的ケアあり・障害者手帳あり(n=37)

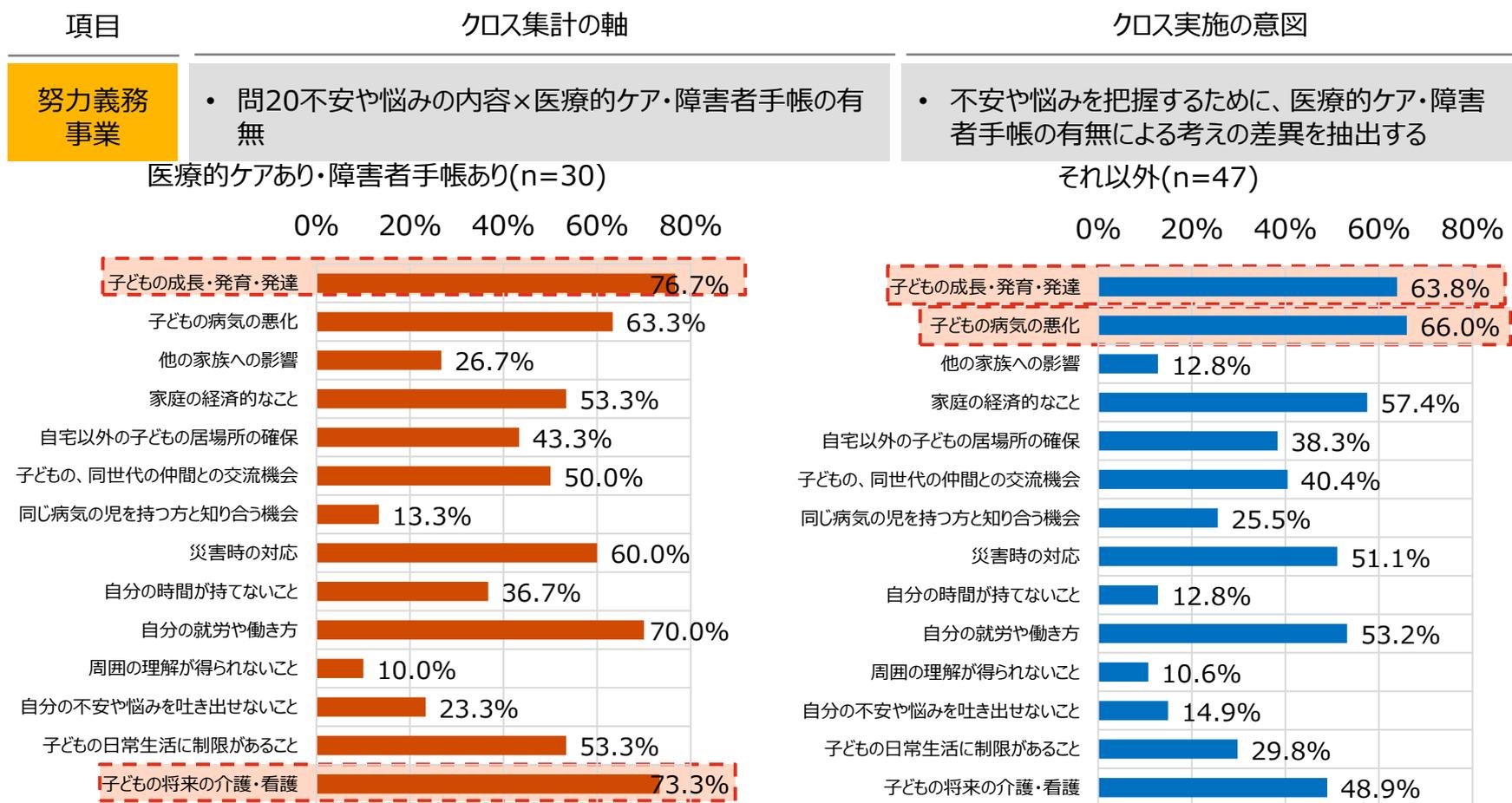


それ以外(n=88)



4-2. 努力義務事業に関するクロス集計(不安や悩み)

「不安や悩みの内容×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「成長・発育・発達」77%「子どもの将来の介護・看護」73%、ない場合は「子どもの病気の悪化」66%「成長・発育・発達」64%でした。

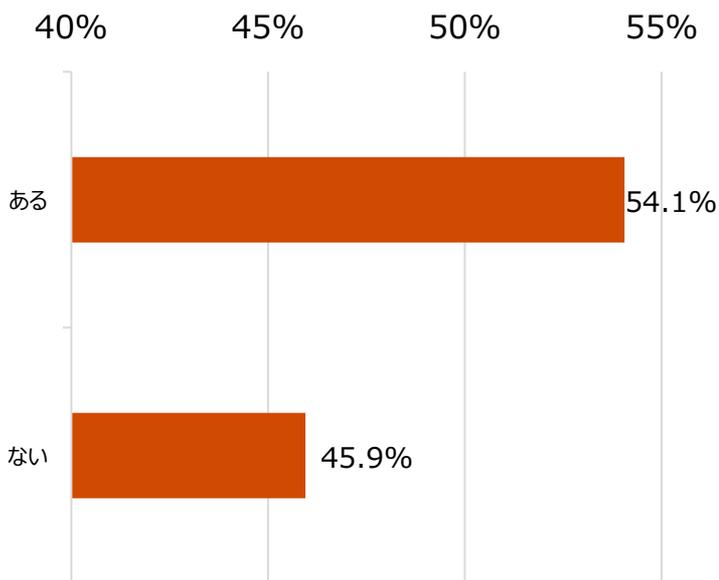


4-3. 努力義務事業に関するクロス集計(不安や悩み)

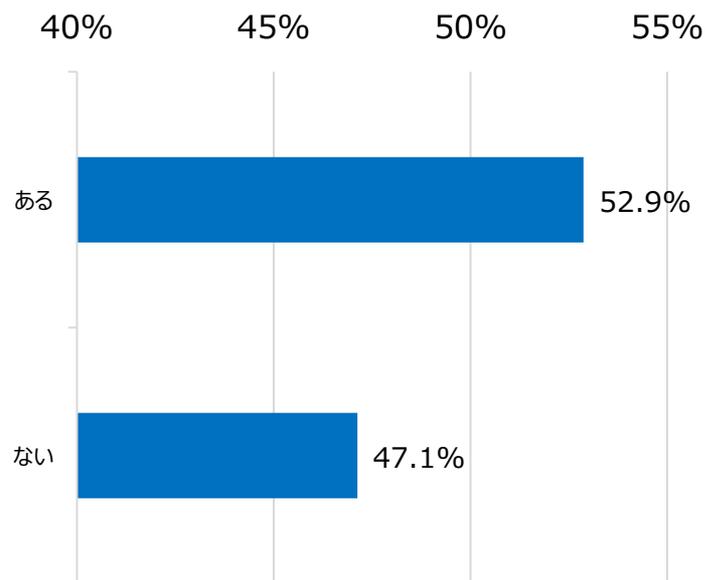
「就労に関する不安の有無×医療的ケア・障害者手帳の有無」のクロス集計結果は、医療的ケア・障害者手帳がある場合は「ある」と回答したのは54%、ない場合は「ある」と回答したのは53%でした。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
努力義務事業	<ul style="list-style-type: none"> 問25就労に関する不安の有無×医療的ケア・障害者手帳の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 就労の不安や悩みを把握するために、医療的ケア・障害者手帳の有無による考えの差異を抽出する

医療的ケアあり・障害者手帳あり(n=37)



それ以外(n=87)

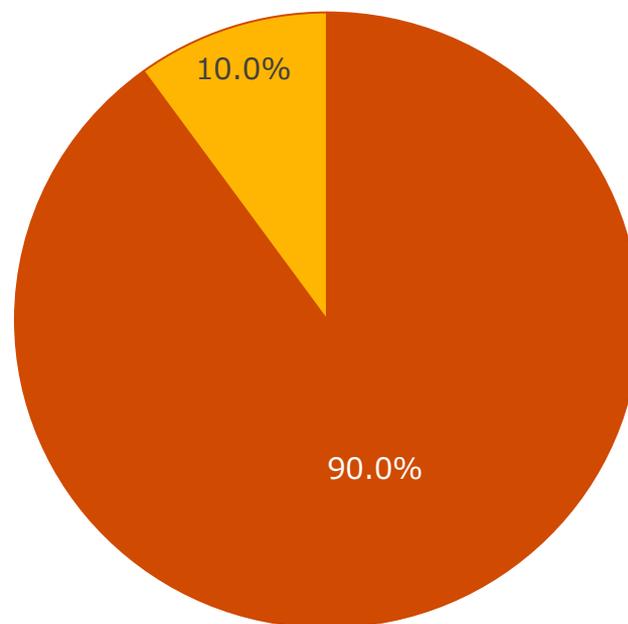


5

子ども向け調査の
単純集計結果 資料

1. アンケートへの同意

Q1.お子さまのアンケート回答に同意いただけますか。(n=30)

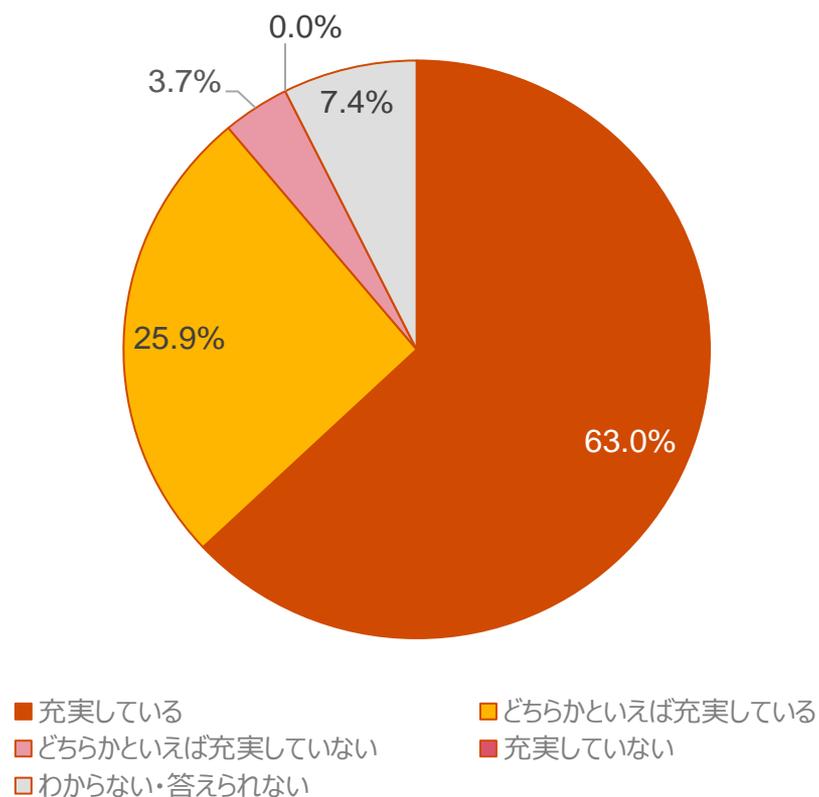


■ 同意する

■ 同意しない

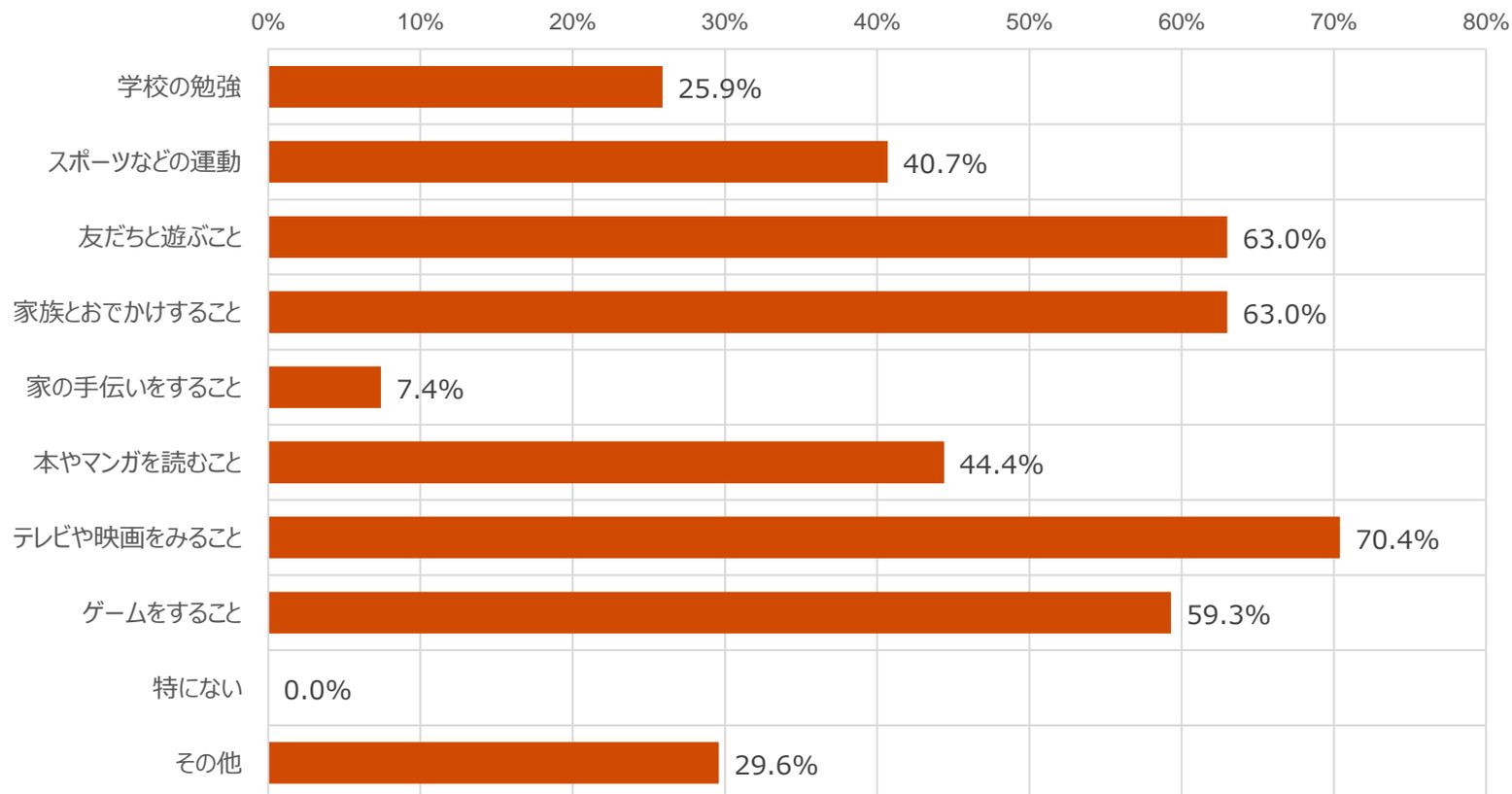
2. 生活の充実度

Q2.あなたは、いまの生活が充実していると思いますか。(n=27)



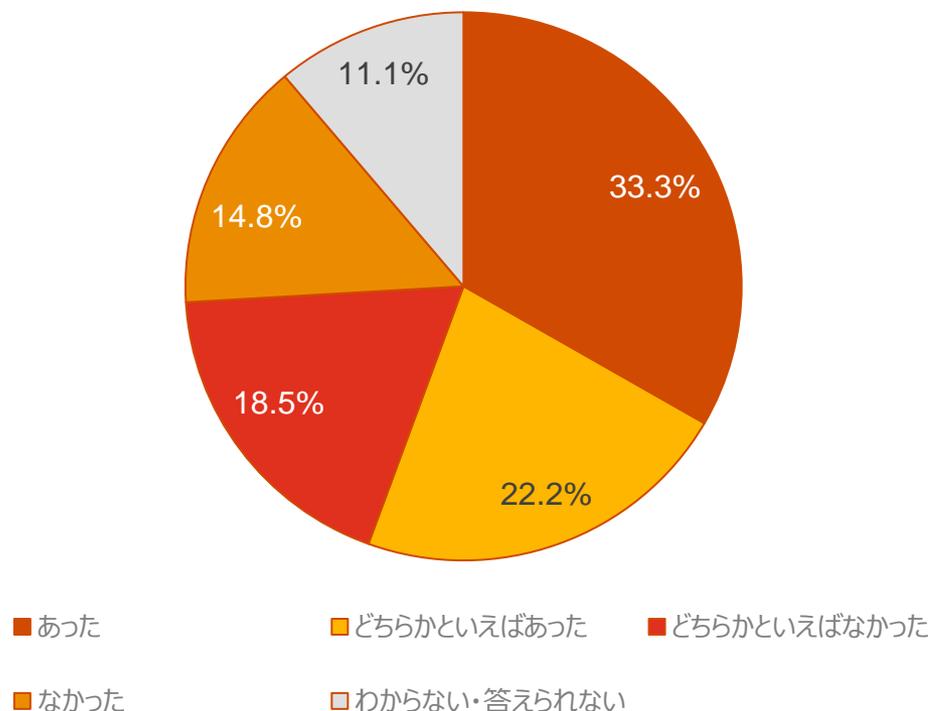
3. いまの生活の中で楽しいこと

Q3.いまの生活の中で、楽しいことは何ですか。(n=27)



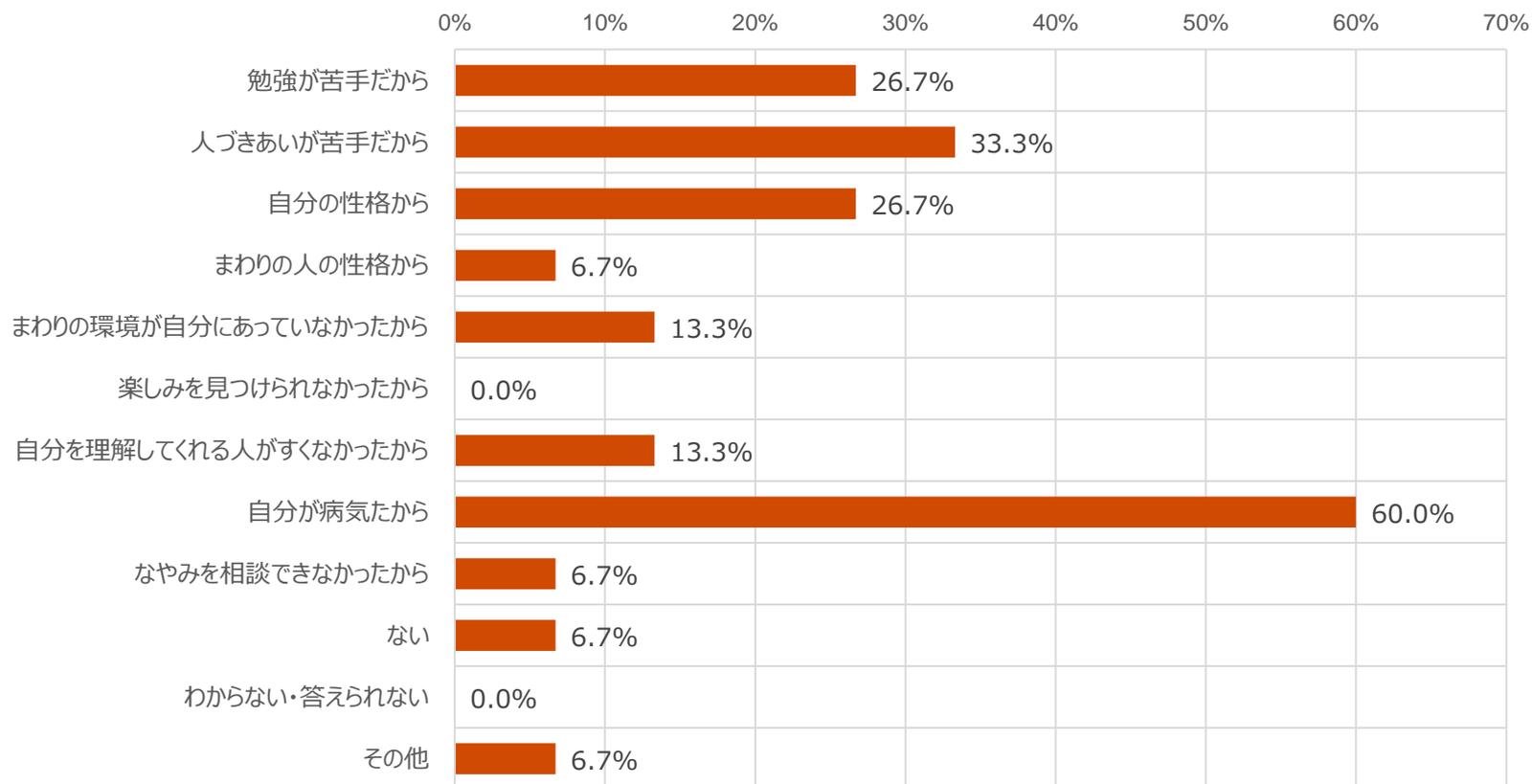
4. ふだんの生活や学校での生活を思い通りにできなかった経験

Q4. いままで、ふだんの生活や学校での生活を、あなたの思いどおりにできなかったことがあったと思いますか。(n=27)



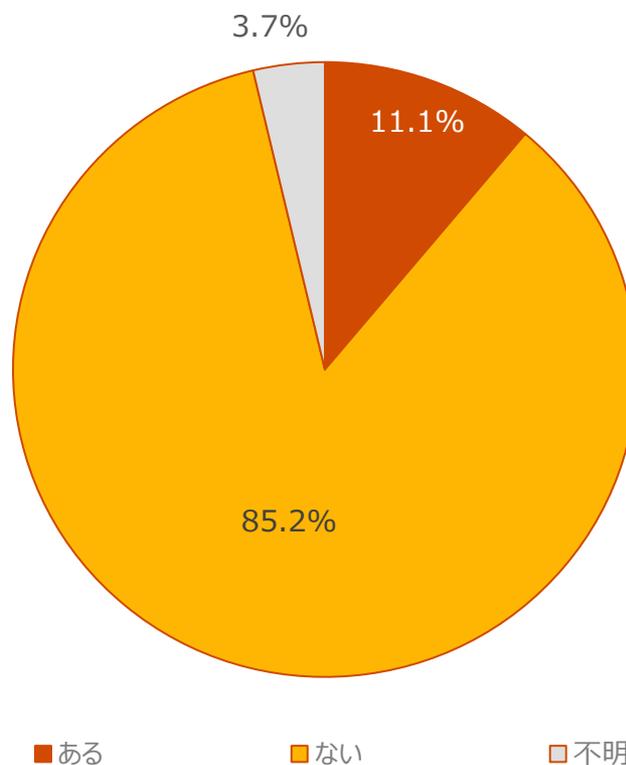
5. 思い通りにできなかった理由

Q5. そう思う理由を教えてください。(n=15)



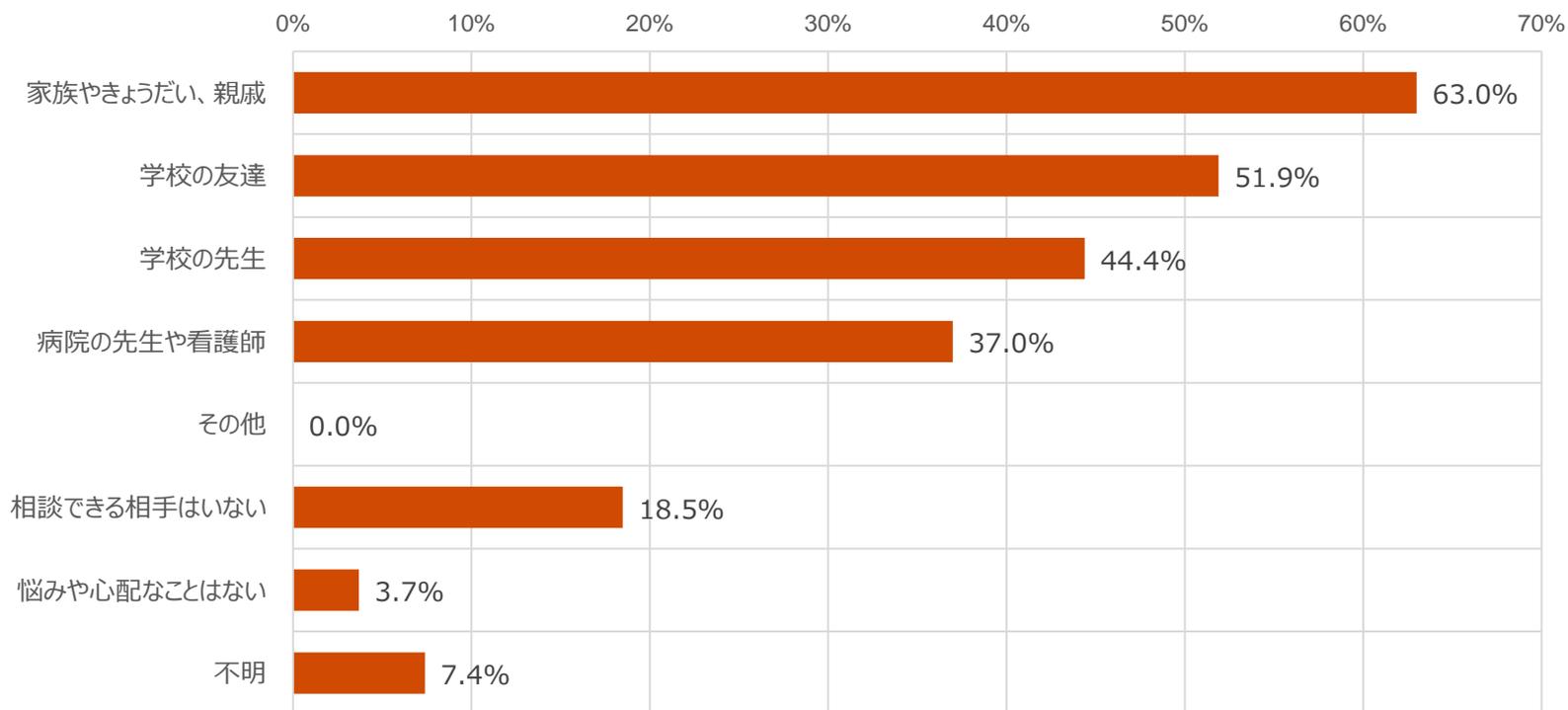
6. 今の生活での悩みや心配

Q7.今の生活で悩みや心配なことはありますか。(n=27)



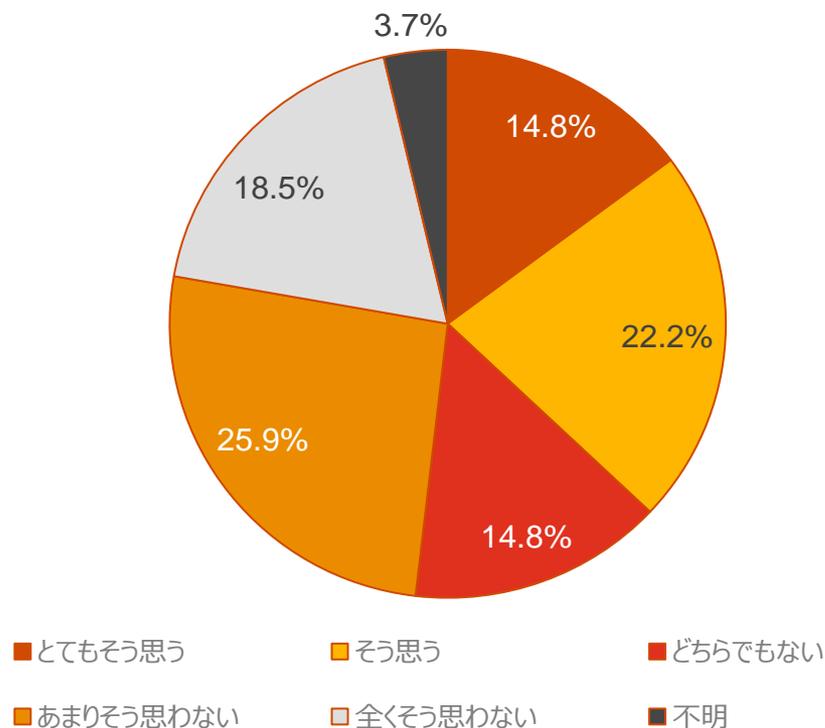
7. 悩みや心配なことがあるとき、相談できる相手

Q9. 悩みや心配なことがあるとき、相談できる相手はいますか。(n=27)



8. 悩みや相談があるとき、専用の相談窓口の利用希望

Q10.悩みや相談があるとき、専用の相談窓口があれば、利用したいと思いますか。(n=27)



Thank you

www.pwc.com/jp

© 2024 PricewaterhouseCoopers Japan LLC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.